

[ 勝ち残る整備事業者のための情報誌 ]

Published by  PROTO RIOS

# MSR

月刊 [エムエスアール]

## 2月号

### メンテナンスショップレポート

令和7年1月5日発行 (毎月5日発行)



特集

## 電動車リサイクルバッテリー交換ビジネスの可能性

エアコンフィルター特集

## 花粉シーズン到来 車内を快適に

[ 連載 ]

現役マネージャーいづみの細うで繁盛記 / 自動車整備業界のDX  
車販取り組みの基礎工事 / 実践M&A

人とクルマに優しい  
サービスの未来空間を創造

**BANZAI**<sup>®</sup>

可搬型 EV 充放電器

# POCHAV2V



デモ動画はこちら

CHAdeMO 規格認証済

型式：MV2V-10K-BC

## EV 同士で電力を融通する、新しい電欠対応を提案します

「レッカー移動に代わる新サービス」「いつでも、どこでも、簡単に」「電欠した EV へ緊急チャージ」



電欠車

充電電力

**9.5kW** (定格)

電費 6km/1kWh の EV に  
10 分充電で 9.5km 走行可能

その場で急速充電!  
レッカー移動の  
時間・労力が不要

ワンボタンで  
充電を開始できる  
超簡単操作



縦列駐車を想定した、充放電用コネクタケーブル (8m×2 本) を標準添付

▲ 安全に関するご注意 にご使用の際は「取扱説明書」を必ずお読みの上、正しくお使いください。「型式」仕様は予告なく変更することがあります。

**BANZAI** 株式会社 **バンザイ**

■ 本社 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19  
TEL 03(3769)6880(代) FAX 03(3456)4691  
<https://www.banzai.co.jp> E-mail: [eigy@banzai.co.jp](mailto:eigy@banzai.co.jp)



ISO9001 認証取得  
ISO14001 認証取得

SDG 推進  
日本ユネスコ協会連盟

バンザイは SDG を推進する  
日本ユネスコ協会連盟の賛助  
会員として支援しています。

【入庫管理】と【ネット予約】を一元化！ 入庫予約管理はこれ一本！



ネット予約もできるクラウド型入庫管理システム

／ 実質50%OFFで導入できる！ ／

# IT導入補助金2024 対象ITツールに認定！

- ・ 通常枠 1~3 プロセス
- ・ クラウド利用料の 2 年分が補助対象に！
- ・ 補助率：1/2 以内
- ・ 補助額：5万円以上150万円未満



・ 基幹システム連携



・ 各種システム連携可能



株式会社ヤマウチ

〒761-8057  
香川県高松市田村町397番地

☎ 087-867-6868

( 平日 9:00 ~ 17:00 )

<https://totoco.biz>



好評  
発売中

月刊ボデーショップレポートにおいて2016年4月号～2022年3月号まで連載していた藤堂高明氏の「カーライフ革命」を起こせ!」を書籍化。  
事業承継した整備工場・天理興業の再建などを通じて藤堂氏が導き出した自動車整備事業者の経営戦略やDXの重要性と方法論、リーダーとしての心構え、さらにはコロナ禍をはじめとした様々な社会・経済動向がカーアフターマーケットに及ぼす影響についての考察など、幅広い知見を収録。自動車整備・钣金塗装事業のヒントがここに。

# 「カーライフ革命」を起こせ!

定価 3,080円(税込・送料込) A5判 240ページ

cars株式会社代表取締役社長 藤堂 高明

## 主な内容

### Chapter1 自整業を取り巻く環境変化と経営戦略

- ・チャンス到来! 今こそ「クルマ屋」を再定義します!
- ・自整業の戦略「地域密着戦略」「地域拡大戦略」
- ・自整業に革命をもたらす組織「CAMP」
- ・自整業における組織の現状
- ・CAMP ミーティング2019SS

### Chapter2 第四次産業革命の到来、 自整業に求められる対応

- ・第四次産業革命とその影響
- ・BP業界の新業態「シェアファクトリー」
- ・オートアフターマーケットの方向性と可能性
- ・デジタル時代の三種の神器とは?
- ・自整業におけるDXの本質
- ・技術の差が未来を分ける

### Chapter3 社会環境の変化を受けて

- ・異業種の事例に学ぶ
- ・今こそ重要な「地政学」
- ・2019年台風15号の発生を受けて
- ・新型コロナによる影響
- ・コロナ時代の車屋経営
- ・withコロナ時代の自動車整備業とは?

### Chapter4 経営者に求められる リーダーシップとは

- ・リーダーシップの必要性
- ・リーダーシップ論

### Chapter5 これからの整備業界に必要なこと

- ・新しい時代の潮流
- ・どうする? どうなる? 今後の自整業
- ・青年よ大志を抱け! 誰もが挑戦できる社会の実現

著者

藤堂 高明 (とうどう・たかあき)

奈良県出身。大学卒業後大手通信会社に就職し東京で勤務。2003年3月に自動車整備業界へと転職。2007年代表取締役就任。毎年7千万円の赤字で廃業寸前であった事業を様々な取り組みで再建。以降も、大阪や東京・埼玉・千葉などで40件以上のM&Aや新規出店により事業を拡大し14年間で年商30倍を実現させた。現在は渋谷で50人のメンバーと共にグローバルカーライフテックサービスcarsの開発提供を行っている。



お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。



[ホームページ]  
<https://www.proto-rios.co.jp/>

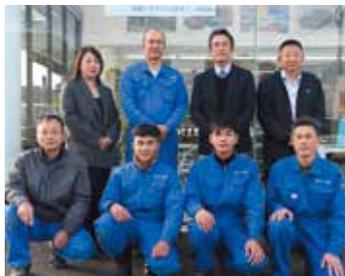


[BSRweb]  
<https://bsrweb.jp/>

[勝ち残る整備事業者のための情報誌]

MSR

月刊メンテナンスショップレポート  
令和7年1月5日発行 ¥0  
2月号



## [表紙写真]

人材不足と技術継承という、整備業界の2大課題に挑むセイコー自動車。カギを握るのは、はたして……。

## Webで閲覧できます

MSRは全国の配布協力業者からお届けします。お近くに配布協力業者がない場合、下記より閲覧できます。

<https://bsrweb.jp/>


メンテナンス  
ショップレポート

発行人 小川直紀  
編集長 八木正純  
編集・制作スタッフ 長谷川明憲、樋口祥三郎  
高橋美穂、青山竜  
木下慶亮、武井宏樹  
市井康義、加戸利一  
取材協力 泉山大（プロジェクトD）

発行所 株式会社プロトリオス

[東京編集課]

〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3

TEL03-5939-4133 FAX03-5939-4135

[大阪編集課]

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2-3-7

TEL06-6227-5601 FAX06-6227-5606

印刷所 共立印刷株式会社

## 特集

08 電動車リサイクルバッテリー  
交換ビジネスの可能性

世界的にEVの普及が叫ばれる中、日本ではHVを含めた電動車の保有割合が伸びている。使用年数の長期化傾向も相まって、今後必要とされるだろうメインバッテリーの交換事情に迫る！

## 取り組み事例

オートサロン イーストジャパン（栃木県宇都宮市）

## 24 エアコンフィルター特集

今年も花粉シーズン到来。快適な車内を実現するエアコンフィルターを厳選して紹介。

## 年頭所感

06 日本自動車整備振興会連合会・日本自動車整備商工組合連合会  
会長・理事長 喜谷 辰夫 氏

## 工場ルポルタージュ

12 セイコー自動車（兵庫県姫路市）

## Topics

14 第24回全日本自動車整備技能競技大会を開催

## 情報

18 業界ニュースひろい読み

20 情報BOX

21 OBD 検査 Information

22 新製品情報

## 連載記事

15 本誌編集長の 業界徒然草

28 自動車整備業界のDX～移動の安心を支える自動車整備事業の再開発～

寄稿 ビズビット 小野健一

30 車販取り組みのための基礎工事

寄稿 チームエル 関友信

31 現役マネージャーいづみの細うで繁盛記

寄稿 ヤマウチ 人見いづみ

32 実践M&A こんな時どうする？

寄稿 フォーバル 山田健一

※今回、みんなの修理事例はお休みです。



令和7年 日整連・整商連会長年頭所感

New year's reflections

# 喜谷 辰夫 氏

日本自動車整備振興会連合会  
日本自動車整備商工組合連合会  
会長・理事長



新年あけましておめでとうございます。令和7年の新春を迎えるに当たり、所感の一端を述べ、新年のご挨拶とさせていただきます。

世界の経済状況は、コロナ禍、紛争、インフレーション、金融引き締めなどによる混乱を乗り越え、経済活動と貿易が持ち直していることから、景気は堅調に推移しています。また、近年の世界情勢は、米中対立やロシアによるウクライナへの侵攻の長期化、混迷を深め続ける中東情勢など国家間対立が激しくなっており、地政学的な目的のために経済を手段として使うことで世界経済への悪化が懸念され、国内志向の政策や世界規模の気候変動などのグローバルな課題に対処するため、多国間協調に向けた努力が求められています。

我が国の経済に目を転じてみますと、コロナ禍の影響から脱した後、企業収益が過去最高を更新し、設備投資も大幅に増加したことから、企業部門が堅調さを維持しており、基調として緩やかな回復が続いています。しかしながら、家計部門においては、名目賃金の伸びが物価上昇に未だ追いついていないことから、個人消費は力強さを欠いており、景気回復力は弱い状態が続いています。この中において政府は、デフレーションから完全に脱却し、成長型の経済を実現させるチャンスを迎えているとして、2024年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2024～賃上げと投資がけん引する成長型経済の実現～」に基づき、安定的な物価上昇の下で賃上げに支えられた消費の増加と企業の投資拡大

が持続的な経済成長への好循環をもたらす「成長型の新たな経済ステージ」へと移行させていくことが示されました。

国内の景気は、賃金上昇率の高まりなどを背景に個人消費の緩やかな増加が見込まれ、企業では人手不足対応やデジタル関連などの設備投資の増加傾向が続くことで潜在成長率を上回る成長が続くとされており、更なる成長が期待されます。

自動車については、急速な技術革新が進んでおり、地球温暖化を抑えるため脱炭素や環境に配慮した電動車の普及が進み、少子高齢化社会における交通手段の確保や交通事故の削減を図るため、先進技術を活用して安全運転を支援するシステムや限定した環境下において自動運転を行うシステムが車両に搭載され、最新の電子部品や装置が採用されています。このため、自動車の検査や点検・整備の際にもOBDの活用が欠かせないことから、自動車の電子化への対応が重要となっています。加えて、継続検査OSS（ワンストップサービスの）更なる利用促進につながる自動車検査証の電子化が導入され、自動車本体だけでなく、自動車の検査・登録や点検・整備制度、事務手続きなどについても急速な電子化への対応が求められています。

このような整備業界を取り巻く環境下において、自動車の整備技術の高度化に向けた対応や、一層厳しさが増している少子高齢化の影響で後継者難や若年労働者の採用難への対応も同時に求められ、整備業界は引き続き

厳しい状況にあります。

このように、整備業界が抱える課題は山積してありますが、日整連・整商連としましては、自動車ユーザーの皆様が安全で快適にクルマをお使いいただくためのお手伝いをするという、整備業界としての社会的役割を十分に果たせるよう活動していくとともに、急激に進む自動車の新技術への対応、継続検査OSSの利用促進、OBD検査、自動車検査証の電子化などへの対応等に加え、整備士の人材不足や後継者難への対応を整備事業者の健全な経営の徹底を図りつつ取り組み、将来に向けて業界の持続的な繁栄を目指し、業界全体の活性化と経営基盤の確立に取り組んで参る所存であります。

日整連の取り組みの一端を申し上げます。業界振興・活性化対策については、「自動車整備業のビジョンII」に示している整備事業者の取り組みを引き続き推進するとともに、整備作業の工数の明確化とそれに見合った適正な料金の收受方策を検討し、自社の経営状況を簡易に自己診断できる「経営自己診断システム」を活用した適正なレバーレートの設定等、整備事業者に必要な周知を行い、健全な経営の実践を推進します。また2024年度に新たに構築した、点検・整備委託先を自動車ユーザーのニーズに応じて検索可能な整備工場検索システムの内容を充実させるとともに、自動車ユーザーへの利用促進を図っていきます。

整備士確保対策については、職場体験の

実施推進等による自動車整備の仕事のPR、二種養成施設のPR活動に加え、イベント等で活用できる小学生以下を対象とした自動車整備士体験ツールを作製して、自動車整備士の仕事をPRするなど、国土交通省及び「自動車整備人材確保・育成推進協議会」との連携を図りつつ、自動車整備に携わる人材の確保・育成対策を進めていきます。

業界健全化対策については、指定整備事業者における厳正かつ公正な事業運営の徹底を図るとともに、不正改造車の排除の徹底を図って参ります。また、2024年から導入されましたOBD検査の円滑な実施のための情報収集に努め、その周知徹底を図って参ります。

法制・税制対策については、自動車整備事業の喫緊の課題克服に関する要望や税制改正等要望の実現に向け、積極的に活動して参ります。

ICT化促進対策については、登録情報処理機関として電子保安基準適合証システムを円滑に運用するとともに、自動車情報利活用促進協会が運用する申請共同利用システムを活用した継続検査OSS代理申請業務についても円滑な運用及び利用率の向上に努めて参ります。

環境保全・省資源対策については、国の方針に基づき新たに策定した温室効果ガス削減の数値目標の達成に向けた地球温暖化防止対策に係る整備業界の対応方策を検討するとともに、リサイクル・リユース部品の利用促進を図って参ります。

自動車利用者対策については、国土交通省が実施主体となる「自動車点検整備推進運動」に参画し、同運動の一環として「マイカー点検キャンペーン」を実施して参ります。また、前検査車両対策について、点検・整備の必要性や点検・整備を実施しないことの危険性等を説明した自動車ユーザー向け啓発資料等の活用を推進し周知して参ります。

整備技術の向上対策については、整備主任者技術研修の一層の充実を図り、スキャンツール基本、応用、ステップアップ研修及びフォローアップ研修を含む再教育を推進することにより、自動車の電子制御装置などの新技術への対応力の向上を図るとともに、自動車整備士資格制度等の見直しに対応して、自動車整備士養成課程教科書の改訂作業を進めて参ります。

自動車整備技能試験対策については、各試験を各地方委員会の協力を得て厳正かつ公正に実施するとともに、自動車整備技術に対して専門性・技能を有し即戦力となる外国人の受け入れ・就労を目的とした自動車整備分野特定技能評価試験について、試験の確実な実施と国外試験実施国の拡大等について検討を進め、円滑な実施に努めて参ります。

一方、整商連におきましては、「これからの商工組合事業のあり方に関する新たな提言」を進めるために策定した「商工組合事業推進計画」を基に、組合員の事業の改善発展、また公正な経済活動の機会の確保を目指して、日整連及び各組合と密接に連携しつつ業界の近代化を促進し、経営基盤を強固にしていくため、経営支援事業、情報収集・提供事業、調査・研究事業等の諸事業を積極的に推進して参ります。

経営支援事業の人材養成事業については、商工組合及び振興会の事務局職員の資質向上を図るために、ステップ別教育として新人職員、管理職員を対象とした研修会を実施して参ります。

業界振興・活性化対策については、日整連事業への協力及び大変革期に対応した整備事業のあり方の検討を行うとともに、整備作業の工数の明確化とそれに見合った適正料金の収受や整備人材の確保に係る方策などについて日整連と協力して検討を進めて参ります。また、事業承継支援対策を推進するための方策として、事業承継マニュアルを最新の情報に改訂して活用の促進を図るとともに、信金キャピタル株式会社と提携したM&Aに係る紹介・連携事業を推進して参ります。

加えて、自動車整備業の活性化方策の活用推進のため、具体的な取り組みを実施している地域、整備事業者への取材を引き続き行い、事例の収集を図って参ります。さらに、経営革新等支援機関として、生産性の向上等を目指す自動車整備事業者のために、関係補助金等の申請、経営力向上計画及び先端設備等導入計画の策定に関して、地方各商工組合等と連携してサポートするとともに事例の収集・紹介を行って参ります。

情報収集・提供事業については、当会と組合事務局との電子情報（デジタルデバイス情報等）の推進、活性化を図るとともに、関係法令、自動車整備関係諸情報の収集・提

供を促進して参ります。

調査・研究事業については、新たな受発注システムの円滑な運用に努めるとともに、適用品目の拡充に努める等、活用の推進を図るとともに、「外国人材の受入制度に係る監理団体・登録支援機関との連携」について、引き続き調査・研究を進めて参ります。

商工組合事業のあり方に関する新たな提言については、「新提言に基づく事業推進計画」の実施状況の把握として全国組合への調査を実施して参ります。

自動車整備近代化資金については、引き続き「残存求償権処理要領」等に基づく自動車整備近代化資金残存求償権の適正な回収及び整理に努めて参ります。

共同経済事業対策については、各組合との意見交換を通じて組合の実態把握に努め、購販担当ブロック代表者会議を活用して組合の組織力とスケールメリットを生かしつつ諸事業を推進して参ります。

整備事業者の課題とされる自動車新技術に対応する機器やOSS関連ツールなどについては、指定工場におけるOBD検査及び認証工場におけるOBD確認に必要となるスキャンツール、VCI（車両通信インターフェース）の供給に努めるほか、OSSの普及・促進への対応として開発した楽楽OSSについて、電子自動車検査証の車検証閲覧アプリとのシステム間でのデータの連携（API連携）による入力作業の効率化を図るなど、利便性の向上と利用拡大に努めて参ります。

ETC及びETC2.0車載器セットアップ登録店の募集と適正な運営の推進については、新たなセットアップシステムへの円滑な移行に協力するとともに、新規登録店の募集及びセットアップ業務の適正な運用に努めて参ります。

大規模災害等を踏まえたBCP（事業継続計画）については、日整連と共同して適切な実施体制の確保に努めて参ります。

以上、本年の取り組みの一端を申し上げましたが、日整連・整商連としましては、業界全体の活性化と継続的な繁栄のため諸事業を推進して参りますので、会員・組合員の皆様には本年も当会事業に一層のご理解とご協力をお願い致しますとともに、関係ご当局をはじめ関係各位のご指導並びにご支援を切にお願い致します。年頭のご挨拶と致します。



## ｜ 特 集 ｜

# 電動車リサイクルバッテリー交換ビジネスの可能性

何度耳にしてきたか分からないが、100年に一度の大変革期を迎えて、自動車が大きく変わりつつある。言わずもがな完全自動運転車を最終ゴールに置きつつ、その先鋒として衝突被害軽減ブレーキをはじめとしたADAS（先進運転支援システム）が搭載され始めて久しい。

こうした安全面の配慮もさることながら、一方で自動車に求められるのは昨今の猛暑、異常気象を見るまでもなく環境負荷の低減、すなわちいかにCO<sub>2</sub>排出を抑えられるかである。

世界的な潮流としては電気自動車（EV）を普及させるべし！が主流となっている一方で、日本国内においてはEVを含めた電動車をいかに普及させるか

がテーマとなって、国を挙げて取り組みを進めている。

日本が「電動車」の普及をテーマとしているのも、ここまで環境問題、SDGsが採り上げられる遙か以前からハイブリッド車（HV）の開発に力を入れていることも大きい。

世界初の量産HVとして初代プリウスが登場したのが1997年。間もなく30年が経とうとしている。自動車検査登録情報協会（自検協）によると、2002年より乗用ハイブリッド車が約7万4,000台の保有を記録したことに端を発し、2年後には10万台を超え、2011年には100万台の大台に乗り、その後も順調に伸び続けた結果、2024年3月末時点で約1,200万台ま

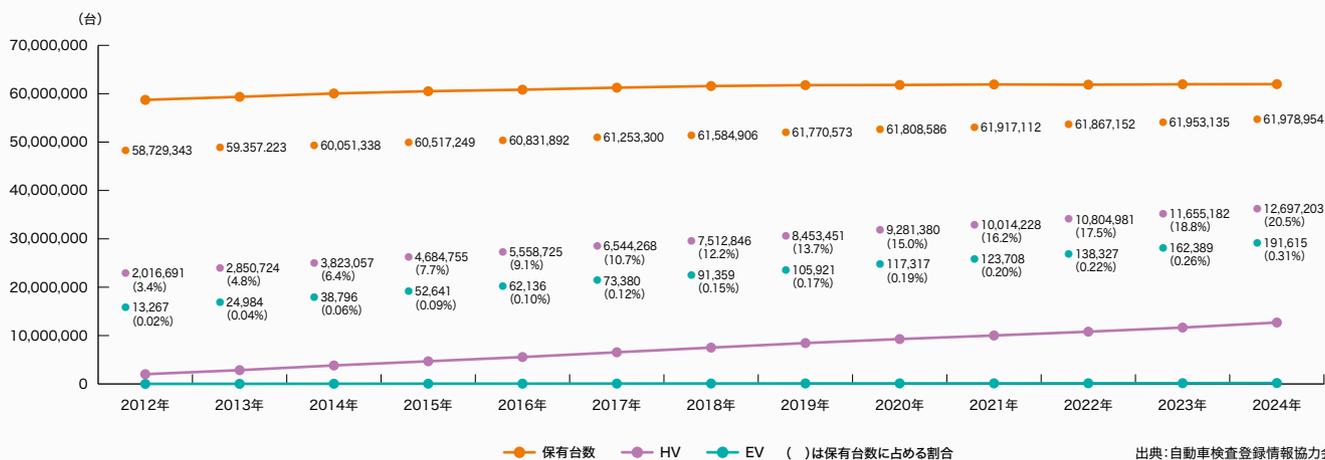
で到達している。

HVも含めた特徴になるが、国産車の優秀さを証明する現象と言うべきか、自動車の使用年数が年々伸び続けている。2000年に小型乗用車で10.22年を記録したことをきっかけに、翌2001年から乗用車合計でも10年を超え、2024年3月末時点で13.32年を記録している（自検協発表）。

より環境負荷の低い車に乗り換えることはCO<sub>2</sub>削減に貢献する一方、新車生産時にも一定のCO<sub>2</sub>が発生することを考慮すれば、今ある車に乗り続けることもある意味、環境貢献と言うこともできる。

すなわち元々環境負荷の低い、今あるHVに乗り続けることは、それだけで

## 乗用車の保有台数の推移



## 乗用車の平均使用年数推移

2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
9.96	10.40	10.55	10.77	10.97	10.93	11.10	11.66	11.67	11.68	12.70	12.43	12.16

2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
12.58	12.64	12.38	12.76	12.91	13.24	13.26	13.51	13.87	13.84	13.42	13.32

出典:自動車検査登録情報協会

環境に貢献していると言っても良い。

しかし、そのために乗り越えなければならない壁も存在する。同じバッテリーの補機バッテリーも車両購入時からそのまま永久に使い続けられるわけではなく、どこかで交換が必要になる。

HVの駆動用メインバッテリーも長く使えば使うほど、劣化が進み、ゆくゆくは交換が求められる。この場合、高度な技術の粋を集めた車両だけに、カーディーラーに相談するカーオーナーも多く、いざ交換となれば多くの場合、新品バッテリーへの交換という流れになるのが通例だ。

問題はそこで、新品ましてや技術の最先端を集めた車両のバッテリーだけに、それなりに値が張るため、どうすべきか頭を悩ませるカーオーナーも多いと聞く。

自動車に限らず、環境に良いこと＝ $+α$ のコストが掛かるという傾向が一般的ではあるが、少しでも費用負担が安

く済めばと思うのが人情である。

こんな時にHVバッテリーにもリユース品ないしリビルト品があれば……まだ手がける業者こそ少ないものの、実はHVバッテリーのリビルトに取り組む事業者は存在している。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合やJARAグループといったリサイクル部品販売団体にも部品を提供している事業者、筆者が知る限りでユーザー、アーネスト、なおおテクノがリビルトバッテリーを取り扱っている。

また、部品としてのアプローチとは別に、交換サービスとしてノウハウを提供するという事業者もここへ来ていくつか登場してきている。

さらに、HVの先にリビルトバッテリー需要が拡大しそうなEVに関しても、バッテリー残量を計る機能を搭載したスキャンツールが登場したり、そうした技術を活用してかりビルトバッテリーの製造を視野に入れているのでは？と期

待できそうな事業者の噂も飛び込んできている。

残念ながらこれらの事業者は、今回の特集には掲載が叶わなかったが、今後の電動車全盛時代に大いに期待が寄せられるだけに本誌としても引き続き追いかけていきたい。

以降のページではすでにハイブリッドバッテリー交換ビジネスに取り組み、成果を上げている事業者に話を聞いたので、ぜひ参考にさせていただきたい。



## 電動車リビルトバッテリー交換サービス

取り組み事例

# オートサロン イーストジャパン (栃木県宇都宮市)

2011年に車両販売、整備を本業として創業したオートサロン イーストジャパン（運営は徳和コーポレーション、石崎 徳社長→<https://www.autosalon-eastjapan.com/>）。ニーズの高まりを受けて、2020年からHVのバッテリー修理・交換サービスを開始し、好評を得ている。

### 東日本大震災発生後の2011年に創業 2020年にバッテリー交換を模索

石崎徳（さとし）社長が整備専門工場での業務を経て、2011年に独立・開業したのが今回訪問したオートサロン イーストジャパン。「自動車好きが集まるサロンのような場を作りたい」という思いと、2011年といえば甚大な被害をもたらした東日本大震災発生後の年に当り、同社も属する東日本復興の願いも込めて、「オートサロン イーストジャパン」と命名した。

2020年、借地だった敷地の購入を機に業務の拡張を検討。

「折しも提携している钣金塗装工場が店を閉めるというので、システムごと買い取るつもりだったが、その会社の社長から『これから先は厳しいと思う。せっかく新しく建て直すのなら、違う視点で取り組んでみては?』とのアドバイスもあり、ちょうどそのころ、HVのバッテリーの不具合が増えてきていて、当社もディーラーに外注すると1ヵ月待ちはずら。バッテリー代の値引率も低い。これから（販売台数も増えて）より忙しくなるのは目に見えていたので、現状を続けていてはきっと出遅れる」と自社でできるHVのバッテリー修理・交換を模索した。

### ハイブリッドLabに加盟 HVマスターショップの認定を受ける

そこで行き着いたのがEHV Laboratory（静岡県沼津市）の展開するFCだった。

EHV Laboratoryは、基本的な計測機器とアイデアのみを頼りに、4万個以上のバッテリーブロックをテスト。地道なトライ&エラーの結果、独自の再生バッテリーユニットを編み出した。

同社の再生HVバッテリーユニットは、ベースとなるリサイクルバッテリーブロックの特性を細分化して、バッテリーの帳尻を無理矢理合わせずに、バランス良く組み立てられている。

電子基板の修理技術も確立していて、高額とされるインバーターやコンバーター、電圧監視ユニットも自社内でリビルトできるなど、生産工場の機能を持ち合わせている。

こうして確立した技術を、ハイブリッドバッテリーの基幹部分（バッテリースタック、ボルテージセンサー）をリビルトキットとして販売。このキットを交換・組み込むためにはバッテリーユニットの分解技術が必要として、車種やメーカーに応じた各研修を開催している（現在は一時的に加盟店募集を休止中）。

晴れて技術を習得した加盟店は、「ハ



バッテリー交換の他、ナビなど用品の取り付けも行っている



徳和コーポレーション  
代表取締役 石崎 徳 氏

「ハイブリッドラボ〇〇」の看板を掲げて営業している。オートサロン イーストジャパンもハイブリッドラボ宇都宮として、名前を連ねている。

全国に30社ほどある加盟店は「HVマスターショップ」として、補修用バッテリーブロックの出荷本数によって★によるランク分けがされている。出荷本数が多い、すなわち修理台数が多いことを意味しており、同社は現在4社しかいない★3つのマスターショップに認定されている。

「加盟店ごとに取り組みの状況は様々。钣金塗装をメインに、バッテリー交換はサブメニューとしている加盟店などもあるが、当社は専門店としてすぐに対応できるよう、売れ筋のアクアやプリウスのバッテリーは常時10台分ほど在庫を確保している。平日1日1台ペースで入庫があり、年間ならば今年も250~300台といったところ。」

最短納車を心がけていて、修理内容にもよるがプリウス、アクアで3時間、エスティマ、アルファードで6時間、レクサスクラスで1~3日を見ていただいている。料金は工賃55,000円+バッテリーモジュール代で、合計では車種にもよるが、約11~23万円となる。

地元栃木県はもちろんだが、今のところ対応できる事業者がいない群馬県と埼玉県のお客様も多い。入庫割合で言うと、7割が一般客で、3割が業者（整備工場）からの依頼となっている。

保有台数の伸びに比例してか、依頼研修・入庫台数も年々増えてきている。同時に「ネットオークションでバッテリーを購入したけれども粗悪品だった」という相談を受けるケースも増えてきている。

それだけ、一般客のニーズが高まっていると言うこともできるわけで、そんな時に同社のように店舗を構えていればカーオーナーにとっては安心なこと、この

上ない。

「集客は自社のWebサイト、加盟しているグーネットやグーネットピットのサイト経由が圧倒的だが、利用者の口コミによる入庫も多いので助かっている」など、単にバッテリーを購入するだけでなく、間違いのないバッテリーを用意してくれて、交換もしてくれる店舗の存在意義は大きい。

昨年はいにくスタッフ数が減ってしまった同社だが、それでも年間で250~300台をこなせたのは十分な実績だ。逆に言えば、スタッフが増えれば対応できる台数はまだまだ増える可能性があるわけで、伸びしろしかない。

一方で保有台数の構成割合を見れば、電動車の伸びしろもまだまだ充分にある。どの事業者と提携するかは別にしても、着手するタイミングだけは見誤らないよう心がけたいところだ。



店舗前は交通量もそこそこ多くノボりでサービスをPR



一見フェラーリ? のロゴマークは日本地図をあしらっている



地元のバス会社、関東自動車のイベントで作った社名入りバス停



## 技能実習生を採用し技術を承継していく

司馬遼太郎が黒田勘兵衛の生涯を描いた著作にも登場する播磨灘。そこへ流れ込む市川から国道312号線を挟み工場を構えるセイコー自動車（金川哲弥社長）。自動車整備業の抱える人材不足と技術承継という課題に真摯に向き合う同社に聞いた。

**工場概要**

代表取締役：金川 哲弥

本社：兵庫県姫路市香寺町溝口960-1

創業：1979年

スタッフ数：12人（整備士4人）

### ショールームを増築し 業容を拡大

創業者である金川正光会長が自宅ガレージを改造して始まったセイコー自動車。ディーラーの営業として勤務していた金川哲弥社長が跡を継いだ後、1995年に現在の場所へ移設し整備工場を新たにオープン。その5年後にはスズキのアリーナ店募集に手を挙げ、車販を経営の軸に加えた。

その判断は功を奏し、2003年にはショールームを増築して80~100台／

年、多い時には150台を販売。現在は顧客からの要望もあり、スズキの正規代理店からは退き、オールメーカーの車種を取り扱うことで、顧客の幅広い要望に答えられる体制を整えた。

入庫では乗用車を主に取り扱い、年間で一般整備・車検は400~500台を推移、車販では約130台販売を達成している。

地域密着型のサービス戦略を展開し、入庫はほとんどが直需である。車販や口コミなどをきっかけに来店する顧客は、その親身なサービスと確かな整

備技術から何世代にもわたって同社を利用するケースが多い。「事故時の積載車対応を含め、サービス提供は迅速かついてないであることを常に心掛ける。その積み重ねが現在につながっている」（金川哲弥社長）。

### 人材不足と技術承継

同社では昨年秋、19歳と21歳のカンボジア人技能実習生を採用した。すでに、カンボジアの送り出し機関で日本語研修や整備技術を十分に学んでからの採用であったが、それ以上に彼らの

実直さと素直さに惹かれたと言う。「現場でも最初は採用に前向きではなかったが、彼らの真面目に働く姿勢を見て、最近では全従業員が息子のように可愛がっており、職場の雰囲気も明るくなった」。

これまで、ハローワークなどを通じた求人に取り組んだが集まらず、仮に採用に至ったとしても長く続かないという苦い経験をしてきた。技能実習生を受け入れるに当たり、職場環境や衣食住に関する準備も必要だが、「コスト全体で考えると未経験の日本人を雇うのと変わらない」と言う。

人材不足だけでなく、技術の承継についても技能実習生に期待を寄せる。整備作業の高度化による整備要領書への準拠は当然とした上で、「音や手の感覚、部品の加工といった整備技術や技法も今は失われつつある。だが、技能実習生が母国にその技術を持ち帰り広めてくれる可能性もある」。国内で日本人の技術者がいないのであれば、技術そのものが失われる前に、技能実習生へとその技術を継承していくのも手であろう。「将来的に彼らが日本に戻ってきた際に、海外からの技能実習生を集めたスクールを開く可能性もある」と笑顔で語ってくれた。

今後は、ディーラーを退職した熟練の整備技術者をシニア雇用として採用する計画を立てる。技能実習生と連携することで、彼らの積み上げてきた技術、その腕前を埋もれさせないよう「発揮する場所、受け継いでいく人」を途絶えさせたくないという金川社長の熱い想いがそこにはある。技術、その技に込められたこれまでの職人の生き様をどのように受け継いでいくのか。人材不足という課題を考えるには切っても切り離せないテーマである。その答えの一つが同社の取り組みにはあるのかもしれない。



商談及び待合スペース。子ども連れでも遊びやすいように配慮する



完成検査場。リフト完備で効率良く作業していく



増築したショールーム。風通しの良い広い空間を確保している



手際良く各作業を完了していく技能実習生



タイヤ交換後の整備チェックでの会話風景

## 第24回全日本自動車整備技能競技大会を開催 全国から47チームが出場、 優勝は北見整振チーム（3回目）

### ▶ 日本自動車整備振興会連合会

日本自動車整備振興会連合会（喜谷辰夫会長）は11月30日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で、第24回全日本自動車整備技能競技大会を開催した。

同大会は自動車整備事業の第一線で活躍している自動車整備士の技能について、より一層の向上を促すとともに、職責に誇りと励みを与え、かつ、大会を通して整備士相互の連帯交流を強める一方、整備事業の公共性と業界の教育訓練・技能練磨の姿勢を広く社会に示し、業界に対する正しい理解と認識を高め、業界の健全な発展と自動車の安全確保及び環境保全に寄与することを目的に隔年開催されている。

全国の整備振興会を代表して47チームが出場。2人1チームで、1

年定期点検整備をベースにした点検整備と故障診断を行う実車競技（配点700点）、車両の点検整備に必要な一般的な技能を審査する基礎競技（配点100点）、顧客への問診・応対・結果説明をロールプレイング形式で行うアドバイザー競技（配点200点）に臨み、3種目の合計点数を競った。

優勝は北見地方自動車整備振興会チームの廣井晃彦、佐々木昭弘の両選手。北見整振チームは第1回、第18回に次いで3回目の優勝となった。両氏とも農協の事業場所属ということで、「農協は農機の整備だけでなく、一般車両の整備にも充分対応できることを知ってもらいたい」という意気込みが優勝の原動力になった。



大会冒頭の挨拶に立つ喜谷辰夫会長



出場チームに比例して観客、応援団も増加



優勝した廣井晃彦（中央）、佐々木昭弘（右）の両選手

優勝 北見（945点）	廣井 晃彦（ひろい あきひこ） 湧別町農業協同組合車輛整備工場	佐々木 昭弘（ささき あきひろ） 清里町農業協同組合 農業機械センター
準優勝 奈良（930点）	中谷 謙一（なかたに けんいち） 中谷商事 生駒東給油所	鎌口 信広（かまぐち のぶひろ） G.C.S
第3位 埼玉（922点）	中間 達也（なかまたつや） ユーエイ	菅 竜太（すがりょうた） ユーエイ
第4位 札幌（920点）	西條 晴紀（さいじょう はるき） ワシダ商会	種市 紘（たねいち ひろし） 平和車輛工場
第5位 長崎（909点）	池田 孝志（いけだ たかし） 池田モータース	堀池 心剛（ほりいけ しんごう） ボディショップクサノ
第6位 宮崎（904点）	福丸 喜貴（ふくまる よしき） 都城地区自動車整備事業協同組合	中村 直樹（なかむら なおき） 花原モータース
第7位 新潟（902点）	川邊 博人（かわべ ひろひと） フラワーオートガレージ	出沼 寛之（いでぬま ひろゆき） シーエムシー中越モータースピットサークル新潟店
第8位 福井（893点）	田中 龍斗（たなか りゅうと） ウエジマ	矢納 圭悟（やのう けいご） 吉崎鋳金

振興会名（得点）

選手名 ※敬称略

### 記者の目

北見整振チームの事前練習には、前回（第18回）優勝時のOBも立ち会い、アドバイスを送ったとのこと。その想いが伝わったのか、優勝直後に両選手は早くも今回の経験を次回出場の選手に伝えていきたい旨をコメントしていた。こうしてバトンは受け継がれ連覇となるのか、新たな優勝チームが誕生するのか2年後が待ち遠しい。（八木正純）



# OBID検査モニタリング会合が発足 11月24日までの検査実績も明らかに

## 11月24日までのOBID検査実績は 2万5,204台、1日平均458台のペース

2024年10月からいよいよOBID検査がスタートした。「最初はまだ対象台数が少ないし」とか、「検査したところでどうせ特定DTCなんて出ないよ」などと言われてきたが、実際はどうだったのか。

それを公開するとともに、そこから課題が発生した場合に、それを検討・解決する場として、OBID検査モニタリング会合が発足、12月2日に第1回会合が開催された（→関連記事19、21ページ）。

ここでは検査開始の10月1日から11月24日までに行われたOBID検査の実績が発表された。指定整備工場、自動車技術総合機構（機構）、軽自動車検査協会（軽検協）の合算で2万5,204台、当該期間は55日あったので1日平均だと約458台が毎日検査を受けた計算になる。全国の認証工場数からしても、10月末時点で対象となっている台数約329万台からしても、少ない数字だ。

もちろん、検査の対象となる車両でも、必ずしもこの期間に車検の満了を迎えるわけではないので、実際の実施台数はそんなには多くないだろうというのが大方の見立てだったので、ある意味、その見立ては正しかったと言える。

それよりも気になるのは不適合率で、全体としては4.9%に当たる1,231台に不適合が検出された。指定整備工場における不適合率は4.8%、同じく軽検協では4.0%だったのに対し、機構における不適合率は13.5%と突出していたことが気になる。

これについて国交省の見解は、「(指定)整備工場では点検整備後にOBID検査を行うのに対し、(機構の)検査コースでは点検整備を行わずに受検（いわゆる前検査）する者

が含まれること」と、「機構の検査台数がまだ少ないため、統計の精度が低いこと」を原因として挙げている。

## 機構の不適合率を下げるには 認証工場への浸透が不可欠か？

検査コースには車検代行業者で検査を受けてから本番に臨むユーザーなども一定数いるだろうから一概には言えないが、基本的には多くの認証工場も検査コースで車検を受けることになる。

そうなると、機構での不適合率を下げるためには、やはりと言うべきか、認証工場に対していかにOBID検査を浸透させるかが重要になってくるだろう。

正直、プレ運用のころから振り返ってみると、もちろん国の姿勢としてはそれが正しいのだろうが、まずは指定整備工場にこそ事業場IDを取って、検査用スキャンツールも購入して、プレ運用にも参加して本番に臨んでほしいという色が濃かったように思う。モニタリング会合の前身、OBID検査準備会合でも指定整備工場の事業場ID取得率や検査用アプリの使用率を、準備の進捗を示す指標として発表していたこと、そしてそれを報道することで我々業界誌が、認証工場が二の足を踏む事態に拍車をかけてしまった点も否めない。

制度の趣旨を考えれば、認証工場においても義務でこそないものの、検査コースでのスムーズな受検を実現しようとすれば、OBID確認を事前に行っておいたほうが良いことは分かっていたこと。それを分かっていたながら我々も伝えきれていなかったことは反省すべきと言える。

「大事なことなので二度言いました」ではないが、伝わるまで伝える、一度言ったことでも何度でも伝えるのは我々業界誌の使命である。そんなことを改めて考えさせられた、今回のOBID検査モニタリング会合だった。



# 謹賀新年



ジヨイボンド株式会社  
代表取締役社長

古舘忠夫

デンゲン株式会社  
代表取締役社長

樋上一誠

株式会社 システムジャパン  
代表取締役

矢野紳一郎

テュフラインランドジャパン株式会社  
代表取締役社長

岡本邦裕

江東産業株式会社  
代表取締役

青木伸哉

株式会社 ツールプラネット  
代表取締役

浅野一信

ケヅテック株式会社  
代表取締役

金子孝嗣

株式会社 チームエル  
代表取締役

堀越勝格

一般財団法人 日本技能研修機構 (JATTO)  
代表理事

石川明男

株式会社 インターサポート  
代表取締役社長

高松晃貴

一般財団法人 自動車利用者保護機構  
代表理事

山下健樹

株式会社 イヤサカ  
代表取締役社長

今井祥隆

エンパイヤ自動車株式会社  
代表取締役社長

上橋 敦

大豊産業株式会社  
代表取締役

藤岡明德

一般社団法人 日本自動車機械工具協会  
会長

柳田昌宏

株式会社 アルティア  
代表取締役社長

浜本雅夫

エムケーカシヤマ株式会社  
代表取締役社長

檜山剛士

二〇二五年

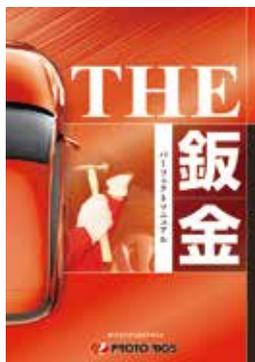


<p>日産部品西四国販売株式会社 代表取締役社長</p> <p><b>秦 寛昭</b></p>	<p>日産カーテクノ愛媛株式会社 代表取締役社長</p> <p><b>岡 豊</b></p>	<p>株式会社 ビッグウエーブ 代表取締役</p> <p><b>服部 厚司</b></p>	<p>本年も何卒 よろしくお願ひ 申し上げます</p> 		
<p>株式会社 ブロードリーフ 代表取締役社長</p> <p><b>大山 堅司</b></p>	<p>株式会社 ユーリウム 代表取締役</p> <p><b>杉岡 茂樹</b></p>	<p>株式会社 南海プランナー 代表取締役</p> <p><b>笠井 泰宏</b></p>	<p>フジックス株式会社 代表取締役</p> <p><b>藤岡 弘明</b></p>	<p>ユーキ塗料株式会社 代表取締役社長</p> <p><b>山縣 繁晴</b></p>	<p>株式会社 ユーボン 代表取締役</p> <p><b>山縣 繁晴</b></p>

車体修理業界専門誌  
発行50年超の  
実績を集約

# 技術解説書

**鍍金**



**THE 鍍金**

新人からベテランまで  
鍍金技術解説書の  
決定版

THE鍍金パーフェクトマニュアル  
B5判 本文2色 288ページ  
定価 4,620円(税込、送料込)

**塗装**



**THE 塗装**

最新の塗装技術まで  
すべて網羅した  
充実の内容

THE塗装パーフェクトマニュアル  
B5判 本文2色 332ページ  
定価 4,620円(税込、送料込)

**事故車見積り**



**THE 見積り**

事故車見積りは任せず  
自社で行うことが  
収益確保の秘訣

THE見積りパーフェクトマニュアル  
B5判 本文2色 320ページ  
定価 4,620円(税込、送料込)



株式会社プロトリオス 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2-3-7  
TEL : 06-6227-5661 ホームページ : <https://proto-rios.co.jp/>

# 業界ニュース ひろい読み

2024年11月16日～12月15日の

今知っておくべき業界ニュースを  
一気に読む!

PICK UP NEWS 行政・団体

## ペダル踏み間違い事故防止技術 WP.29で世界スタンダードに認定

国土交通省 報道発表 11月19日

2024年11月12日から15日にかけて、スイス・ジュネーブにおいて、国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP.29)の第194回本会議が開催された。今次会合では、日本発の安全技術である「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」が国連基準化され、今後の世界スタンダードとして認められた。装置には急発進抑制に関する要件、ドライバーへの警報に関する要件、機能の解除条件に関する要件が求められる。

PICK UP NEWS 行政・団体

## 支払い総額表示義務化から1年 依然として苦情相談相次ぐ

自動車流通新聞 2024年11月25日号

自動車公正取引協議会が中古車販売時の表示適正化として、「支払い総額表示」の義務付けをスタートし2024年10月で丸一年が経過した。しかしながら、2023年10月から2024年5月までの期間、「支払総額表示で購入できない」として相談を受け付けた件数はJU中販連会員が72件、非会員が34件、不明が23件の合計129件に上ったという。全国のJUではさらに訴求を強化し、「支払い総額表示」の徹底を呼びかける。

PICK UP NEWS 企業

## ストロングHVシステムを発表 SUBARU・クロストレックに搭載

日刊油業報知 (HELLO) 11月26日

SUBARUは、2024年10月17日に、エンジンとモーターを動力源とするハイブリッドシステム「ストロングハイブリッド」を発表した。同システムは、状況に応じて動力源であるエンジンとモーターを効率よく使い分けるシリーズ・パラレル方式を採用。シンメトリカルAWDの基本レイアウトを継承しつつ、新開発の2.5L水平対向エンジンとトランスアクスルで構成し、12月5日発表の「クロストレック」に初搭載した。

PICK UP NEWS マーケット

## 都民1世帯当たり「自動車等関係費」 8月は42.2%増加

日刊油業報知 (HELLO) 11月27日

東京都が発表した「都民のくらしむき」東京都生計分析調査報告によると、2024年8月の1世帯当たりの「自動車等関係費」は平均1万7,758円で、前年同月比42.2%増化した。項目別に見ると「自動車等維持費」は1万1,506円で4.2%増。うち「自動車等部品費」は959円で213.4%増、「自動車等関連費」は313円で11.0%増、「自動車整備費」は1,333円で21.4%減。8月は夏休みなどもあり、全国的に車の動きが活発化したと思われる。

PICK UP NEWS 企業

## OEM供給で初のBEV スズキとトヨタで協業を深化

日刊油業報知 (HELLO) 11月28日

スズキとトヨタ自動車は2024年10月30日、両社の協業を進展させ、スズキが開発するSUVタイプのバッテリーEV(BEV)をトヨタにOEM供給することを決定した。新モデルはインドのスズキモーター・グジャラート社で2025年春からの生産開始予定。採用されるBEVユニットとプラットフォームはスズキ、トヨタ、ダイハツ工業の3社がそれぞれの強みを生かして共同開発した。

## 電動商用車の世界販売台数予測 2035年956万台、電動化率43.3%

日刊油業報知 (HELLO) 11月29日

矢野経済研究所は「電動商用車の世界市場に関する調査(2024年)」で、電動商用車の世界販売は2035年に最大956万台、電動化比率は43.3%まで拡大すると予測した。2023年の商用車の世界販売は1,825万台で、そのうち電動商用車は105万7,000台で電動化比率は5.8%となっている。電動商用車を活用した輸送の高付加価値化が普及拡大のカギで、グリーン物流やMaaSの取り組みに注目が集まるとしている。

## 自動運転トラック実証実験 深夜時間帯に優先レーン設定

日刊油業報知 (HELLO) 12月2日

中日本高速道路は、国土交通省道路局および国土技術政策総合研究所とともに、自動運転インフラ検討会の関係省庁と連携し、東名高速道路(駿河湾沼津SA～浜松SA)において、深夜時間帯に自動運転車優先レーンを設定し、自動運転トラックの公道走行の実証実験を実施する。これに先立ち、自動運転トラックが自動駐車・自動発進できるかの確認である自動発着確認等の要素技術検証を、2024年11月5日から開始した。

## 「OBD検査モニタリング会合」開催 開始から1カ月半で不適合率4.9%

国土交通省 ホームページ 12月2日

国土交通省は、2024年10月から車検の項目に追加された「電子装置の検査(OBD検査)」について、その運用状況を確認するとともに、必要な見直し等を検討・実施することを目的として、「OBD検査モニタリング会合」を設置。12月2日に初会合を開催した。10月1日から11月24日のOBD検査の実績は2万5,204台で、このうち1,231台が不適合となった。不適合率は4.9%。指定整備工場での安全系の特定DTCの検出は310台で検出率は1.6%。

## 2024年度上半期の新車販売台数 前年同期比0.8%減

日刊油業報知 (HELLO) 12月6日

日本自動車販売協会連合会の発表によると、2024年度上半期(2024年度4月～9月)の新車販売台数は209万3,880台となり、前年同期比0.8%減となった。新車のうち乗用車は同1.5%減で、登録自動車の前年割れとなったが、軽乗用車は同1.2%の増加。一方、貨物車は同2.4%増、軽貨物車も同5.0%とともに好調だった。上半期の乗用車通称名別のトップはトヨタ・カローラ、2位がトヨタ・ヤリスで、3位がトヨタ・シエンタとなった。

## スズキ初のEV量産モデル SUV「eVITARA」を公開

日刊油業報知 (HELLO) 12月11日

スズキは同社初となるEV量産モデル、「eVITARA」をイタリアのミラノで公開した。来春からインドで生産を開始。夏頃から欧州、インド、日本など世界各国で販売を開始する。「eVITARA」は2023年にインドで公開したコンセプトモデルをベースとした量産モデルで同社のEV世界戦略車第一弾となる。欧州向けにおけるバッテリー容量は49kWh時と61kWh時の2つ。

## ガソリン暫定税率を廃止 自民党、公明党、国民民主党が合意

日刊油業報知 (HELLO) 12月13日

自民党、公明党、そして国民民主党が12月11日に幹事長会談を開き、ガソリンの暫定税率を廃止することで合意した。ガソリン税は長年、1ℓあたり28.7円の本則税率に25.1円の暫定税率が上乗せされてきた。国民民主党は来年度税制改正に関し、ガソリン減税を要望、今回の合意に繋がった。具体的な実施方法などは引き続き関係者間で協議が進められる。

# 情報

## BOX

information box

### イヤサカ

#### 昨年度報告と今年度見通し



イヤサカは12月9日、株主総会後に記者会見を開き、2023年度の事業報告及び2024年度の事業方針を発表。2023年度の売上高は293億5,594万円（前期比106.2%）、営業利益20億83万円（同113.2%）、経常利益21億6,473万円（同109.4%）、純利益14億9,591万円（同108.2%）で増収増益に加え、過去最高の実績となった。

商品別では車検機器、リフト、タイヤチェンジャー（輸入品）、門型洗車機、フレーム修正機、溶接機、スキャンツールは台数ベースで前年比アップと好調な一方、アライメント・タイヤ関連機器、大型車関連機器、塗装ブース、フロンガス関連機器は前年割れとなった。特にスキャンツールの躍進が目立ち、前年比333%という大幅な伸びを記録。OBD検査開始の影響が見て取れる。

2024年度の計画については、売上高230億円、経常利益6億9,000万円に目標を設定した。

また、新年度の役員体制は大きく変わらず今井祥隆氏が代表取締役社長（営業本部長兼務）、常務取締役に蓮池直彦氏（営業推進部長兼務）と中牟田浩氏（営業本部副本部長兼務）。新たに執行役員として大阪支店長の永島滋人氏、福岡支店長の松本由剛氏がそれぞれ就任した。

### 全日本自動車リサイクル事業連合 エコプロに出展



全日本自動車リサイクル事業連合（高橋敏理事長）は、12月4～6日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されたエコプロ2024に出展した。

同連合が発行する業界向けテキストや自動車リサイクルの大切さを啓蒙する絵本、会員企業が使用済み自動車のガラスを再利用して製作したグラス、エアバッグから製作した鞆などを展示し、環境保全への貢献を目指した各種活動内容を報告した。

### NGP エコプロに出展



NGP日本自動車リサイクル事業協同

組合（小林信夫理事長）は12月4～6日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されたエコプロ2024に出展した。

自動車リサイクルの工程を解説する動画を通じて、サーキュラーエコノミーの実現を目指した自動車リサイクル業界の取り組みを紹介するとともに、リサイクル部品の品質や経済的優位性、使用済み自動車買い取りサービス「廃車王」をPRした。

### 自動車リサイクル会議 2024 開催



自動車リサイクル促進センター（細田衛士理事長）は12月5日、AP浜松町（東京都港区）で自動車リサイクル会議2024を開催した。同会議は自動車リサイクルの促進を目的に、国内外の原材料政策の動向や自動車リサイクルに携わる関係各社のニーズを踏まえ、シュレッダーダストの削減と自動車リサイクルの高度化に役立つ情報を発信・共有するために開催された。

Zoomウェビナーとのハイブリッド形式で開催された今回は、「循環型社会実現への道～再生樹脂の循環をどう実現するか～」をテーマに掲げ、東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター・梅田靖教授による基調講演「サーキュラーエコノミーの動向とリサイクル戦略、自動車リサイクルへの期待」をはじめ、5つの講演が行われた。

## OBD検査対象型式一覧 (2025年1月12日～2月15日)

2025年1月12日から2月15日までに検査対象となった車両の一覧です。  
徐々に対象型式は増えています。前号も併せてご確認ください。

出典：OBD検査ポータル (<https://www.obd.naltec.go.jp/>)

	車名	型式	通称名	種別等	OBD検査開始日
264	レクサス	ZAA-XEBM15	RZ450e	普通・乗用	2025年2月1日
265	三菱	ZAB-FEAVK	ふそうeCANTER	普通・貨物	2025年2月8日
266	三菱	ZAB-FEBVK	ふそうeCANTER	普通・貨物	2025年2月8日
267	三菱	ZAB-FEB8K	ふそうeCANTER	普通・貨物	2025年2月8日
268	三菱	ZAB-FEC9K	ふそうeCANTER	普通・貨物	2025年2月8日
269	三菱	ZAB-FED9K	ふそうeCANTER	普通・貨物	2025年2月8日
270	UDトラック	2PG-GK6DAB	—	普通・貨物	2025年2月15日
271	UDトラック	2PG-GK6DAD	—	普通・貨物	2025年2月15日
272	いすゞ	2RG-EK5DAB	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
273	いすゞ	2RG-EK5DAD	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
274	いすゞ	2RG-EK5DAE	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
275	いすゞ	2RG-EK5DAK	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
276	いすゞ	2PG-EK5DAB	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
277	いすゞ	2PG-EK5DAD	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
278	いすゞ	2PG-EK5DAE	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
279	いすゞ	2PG-EK5DAK	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
280	いすゞ	2PG-EK6DAB	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
281	いすゞ	2PG-EK6DAD	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日

	車名	型式	通称名	種別等	OBD検査開始日
282	UDトラック	2DG-CW5ELPP	—	普通・貨物	2025年2月15日
283	UDトラック	2DG-CW5FLVP	—	普通・貨物	2025年2月15日
284	UDトラック	2DG-CW5FAWP	—	普通・貨物	2025年2月15日
285	いすゞ	2DG-SW5ELPP	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
286	いすゞ	2DG-SW5FLVP	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
287	いすゞ	2DG-SW5FAWP	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
288	UDトラック	2PG-GW6DAH	—	普通・貨物	2025年2月15日
289	UDトラック	2KG-GW6DAH	—	普通・貨物	2025年2月15日
290	UDトラック	2DG-GW6EAH	—	普通・貨物	2025年2月15日
291	UDトラック	2DG-GW6ELH	—	普通・貨物	2025年2月15日
292	いすゞ	2PG-EW6DAH	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
293	いすゞ	2KG-EW6DAH	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
294	いすゞ	2DG-EW6EAH	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
295	いすゞ	2DG-EW6ELH	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
296	UDトラック	2DG-CG5FAYP	—	普通・貨物	2025年2月15日
297	いすゞ	2DG-SG5FAYP	ギガ	普通・貨物	2025年2月15日
298	トヨタ	6LA-MXWH61	プリウス	普通・乗用	2025年2月15日

※ OBD検査開始日が到来していても、初度登録年月または初度検査年月から10ヵ月経過していない場合にはOBD検査の実施は不要

### 国交省・機構

## 第1回「OBD検査モニタリング会合」を開催

国土交通省と自動車技術総合機構（機構）は2024年12月2日、2023年10月から2024年9月までのOBD検査プレ運用期間中に行われた「OBD検査準備会合」の後継となる「OBD検査モニタリング会合」を新設。第1回会合をAP東京八重洲（東京都中央区）で開催した。

2024年10月1日より開始されたOBD検査の、同年10月末時点のOBD検査対象型式は892、対象台数は登録車229万4,985台、軽自動車99万6,620台の計329万1605台。また同年10月1日より11月24日までのOBD検査実績は、

指定工場が1万9,690台で、不適合が1回でも検出された車両の割合は4.8%。機構は同742台・13.5%、軽自動車検査協会は同4,772台・4.0%、全体で同2万5,204台・4.9%だった。

国交省物流・自動車局自動車整備課の村井章展整備事業指導官は、指定工場の検査結果より集計された不適合要因のうち、排ガス系911件については「車両が故障していたというよりも、OBD検査の準備や方法に不備があった可能性があり、その後試行錯誤して全部合格になったのでは」と推測。他方、安全系310件に



については「ADAS用ECUやセンサーの故障、通信途絶などが検出されている。目で見て分からない故障を車検で見るといふOBD検査の意義が認められる」と評価した。

また中長期的課題として、OBD検査対象装置の拡充や、「標準仕様の汎用スキャンツール」開発に必要な情報提供ルールの見直しなどを挙げ、2024年度内に結論付ける方針を示している。

## 整備機器全般

 小型・軽量サイズで取り回しよし

### 「DAZ-04A デュアルアクションサンダー」

大型ホイールにこびり付いた付着物や錆を落とす作業に適したダブルアクションサンダー。小型ながら高い研削力を持ち、作業中にエアホースが邪魔にならないようプラグ部分の角度や方向を自由に変えられる。P80・120のサンドペーパーと不織布ディスクが付属。



パッド径:98mm  
オービットダイヤ:10mm  
無負荷回転数:7,800rpm  
全長(パッド付き):145mm  
重量(同):約1.4kg

空研 TEL 072-953-0601  
大阪府羽曳野市野々上3-6-15 FAX 072-953-0605

## 整備機器全般

 大型車のタイヤ交換時の清掃にも

### 「KS-35 エアースクレーパー」

大型車のホイールやハブに付着した錆などの除去に適したエアスクレーパー。先端が8・25mmのスクレーパーが2種類付属し、用途に応じてエアソーやヤスリのように使用することも可能。ストロークはL(ロング)とS(ショート)で調整する。



往復速度:5,300(L)/6,000(S) fpm  
ストローク長:10(L)/5(S)mm  
全長:228mm  
重量:約1.1kg

空研 TEL 072-953-0601  
大阪府羽曳野市野々上3-6-15 FAX 072-953-0605

## 整備機器全般

 防錆塗布と洗浄の2WAYタイプ

### 「WT2023 R/Eキット」

車の内部及び外部への防錆塗布だけでなく、エアユニット内のエバポレーターといったパーツ洗浄にも適したガンキット。

従来品よりも約50%軽量化し、凹凸部やエンジンルーム内などの入り組んだ箇所にも吹き付けやすく、塗り肌の調整も可能。ラストップガン(Rキット)とエバポレーターガン(Eキット)の2種類を準備し、各種付属品も取りそろえる。



WTBワタベコーポレーション TEL 06-6710-3010 大阪府大阪市東住吉区桑津2-15-6 <https://wtb-watabe.co.jp/>



## 整備機器全般



国内最高水準の  
ハイスペック・スキャンツール

## 「THINKTOOL Max」

国産車、輸入車の乗用車220メーカーに対応する車両診断機。8GB RAM・265GBストレージ搭載と高いハード性能を誇り、基本機能をはじめとしたメンテナンスリセットやオンラインコーディングも可能。

TeamViewerを使った設定・導入・運用のサポートやAIによる故障診断「TCドクター」に加え、3年間の無料ソフトアップデートが付属する。



TCJ ナビダイヤル 055-941-5123  
静岡県裾野市佐野84-4 <https://tcjtd.com/>

## グッズ類/カー用品/他



ビジネスバンのカスタマイズニーズに対応

「DELVEX 935」  
ホワイトレター

タイヤの縦ミゾ(主溝)やブロックのジグザグ形状、独自の3Dオープンサイブを採用することで、冬道でのビジネスバン・小型トラックのスノー路面での駆動力とアイス路面でのブレーキ性能が向上したスタッドレスタイヤ。

タイヤサイド部のブランドロゴを白い文字で立体的に表記するホワイトレターを採用した。冬でもカスタマイズを楽しみたいというニーズに答えている。サイズ:195/80R15 107/105N LT。



TOYO TIRE TEL : 072-789-9110  
兵庫県伊丹市藤ノ木2-2-13 FAX : 072-773-3272

## 整備機器全般



ハンマー不要で簡単に目打ち

## 「CPGA160 オートセンターポンチ」

穴あけ作業時の位置決めに適するオートセンターポンチ。片手でも押し付けやすいグリップ形状で、グリップ部を左右に回転させることで目打ち力を調整できる(ネジ式)。先端ビットは別売りで交換可能。全長:163~167mm、重量:145g。



TONE 営業業務部 TEL 0721-56-1850  
大阪府河内長野市寿町6-25 <https://www.tonetool.co.jp/>

## グッズ類/カー用品/他



乗るだけで160mm車高アップ!

エマーソン  
「ワーキングカースロープ」

160mmの車高アップが可能なカースロープ。

傾斜10°かつ1,300mmのロングステップでローダウン車にも対応。ステップは分割式で作業性・収納性に優れ、表面加工とゴム製滑り止めで安全性も高い。入数:2個。耐荷重:1.5トン(2個使用時)、対応タイヤ幅:~275mm、サイズ:幅380×長さ1,300×高さ210mm、重量:7.75kg(1個)。



ニューレイトン TEL : 03-3676-2991  
東京都江戸川区南篠崎町4-14-11 [info@newrayton.co.jp](mailto:info@newrayton.co.jp)



エアコンフィルター特集

# 高性能キャビンフィルター「エアクリーズ」シリーズ

東洋エレメント工業 » <http://www.toyoelement.co.jp>

## 花粉シーズン到来 車内を快適に

今年もまたこの季節がやってくる。日本気象協会の発表（2024年12月5日）によれば、2025年のスギ花粉の飛散開始時期は例年並みで、2月上旬の九州を皮切りに次第に東へ北へと広がっていき、2月中旬には関東以西の広い範囲で、2月下旬には北陸・東北南部、3月上旬には東北北部へと達する見込みだという。

加えて冬季は局地的に大気がよくどみやすく、暖房などの使用増加によって発生しやすくなるPM2.5も気になるところだ。こうした有害物質をシャットアウトすることが、快適な空間を作る上では大事な要素であり、車においては空気の通り道であるエアコン（キャビン）フィルターを清潔に保ち、正常に機能するように維持することが重要である。

そこで本コーナーでは、代表的なエアコンフィルターを紹介する。快適空間の維持に努めていただきたい。

### スギ花粉の飛散開始時期と飛散量

	飛散開始時期	飛散量
札幌	※	やや多い
秋田	3月上旬	やや多い
仙台	2月下旬	—
新潟	2月下旬	やや多い
金沢	2月下旬	多い
松本	2月下旬	—
東京	2月中旬	やや多い
名古屋	2月中旬	多い
大阪	2月中旬	非常に多い
高松	2月中旬	多い
広島	2月中旬	多い
福岡	2月上旬	多い

※ 北海道はシラカバ主体のため対象外  
 ※ 飛散開始日は、1平方センチメートルあたり1個以上の花粉を2日連続して観測した最初の日  
 出典：日本気象協会

## 医療用マスクにも使われている不織布を採用

今や国産乗用車に標準装備が当たり前となったエアコンフィルターだが、当初はほとんどの交換がディーラーで行われていた。近年、ディーラー以外の整備工場でも交換需要が高まっており、その需要は年々増加傾向にある。また市場ではエアコンフィルター交換の潜在需要はまだ多く、掘り起こさない手はないと言われている。

エアコンフィルターが目詰まりすると風量低下やカビ・雑菌が繁殖し悪臭の原因になってしまうため、定期的な交換が必要とされている。交換の目安は1年ごと、または10,000～15,000kmとなる。

同社のエアコンフィルターは、厚層不織布と医療用マスクにも使用される繊維の細かいメルトブロー不織布の2層でフィルターを形成しており、チリやほこり、花粉などに対する高い除塵性能とPM2.5 (2.5 $\mu$ m以下の微小粒子物質) にも高い効果を示す。

3タイプのバリエーションのうち、「エアクリーズ plus」は多機能タイプで、2枚の不織布の間に特殊活性炭を

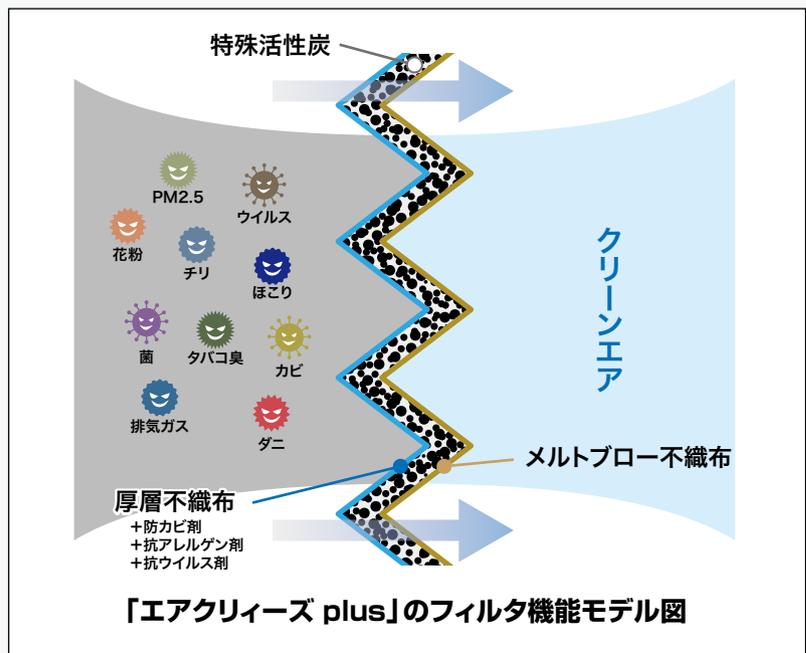
配合し脱臭効果を発揮。さらに厚層不織布に抗菌剤・アレルギー低減剤、そして銀イオンを添加することで菌やカビ繁殖を抑制する防カビ・抗菌効果、抗アレルギー・抗ウイルス効果を発揮する。

「エアクリーズ ユニサード」は特に3つの効果 (①除塵+PM2.5、②活性炭による脱臭、③防カビ・抗菌) に特化したタイプで、「plus」より求めやすい均一価格で花粉やタバコ臭を気にす

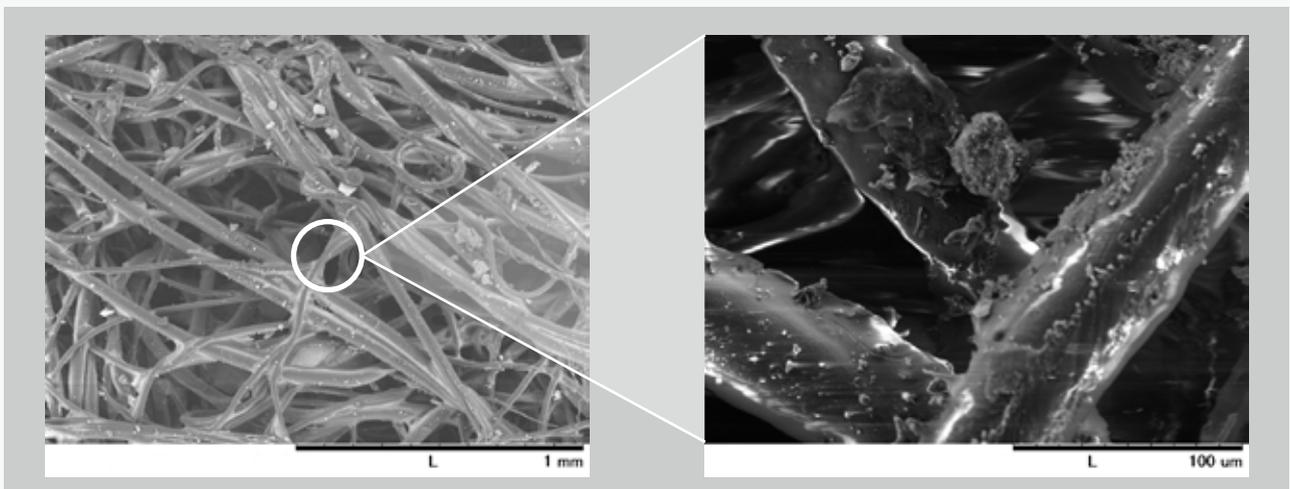
るカーオーナーにミート。

「エアクリーズ fine」は除塵・PM2.5対策に特化した製品だが、ローエンドながら清浄効率はほか2つの製品と同等の98%と高い性能を実現。同社エアコンフィルターの性能をリーズナブルな価格で実感できる。

同社はユーザーからの多様な要望に応えられるよう、品揃えの充実を注いでいる。



使用済みエアクリーズ電子顕微鏡拡大写真 (東洋エレメント工業撮影)



# Protorios Aftermarket Seminar

プロトリオスのお届けするオンラインセミナーのご案内



オンラインセミナー開催中  
参加費：無料

配信スケジュールはQRコードよりご確認ください

自動車アフターマーケットに関する  
知りたいこと、知っておくべきこと  
すべてここで学ぶことができます

本誌連載中

## 自動車整備業界のDX

誌面だけではお伝えできないこと、誌面では書ききれない内容など、オンラインセミナーを通じてさらに詳しくご説明いたします！

視聴料：無料



講師紹介  
小野健一

ビスピット代表取締役。大学院修了後、自動車部品メーカーにて用品の企画から設計・販売までを担う。2020年、アフターマーケット向けの事業開発を行うビスピットを創業。現在は自動車整備工場向け事業の開発、顧問での経営支援等を行う。

第1回配信	1月29日(水)
第2回配信	2月22日(土)
第3回配信	3月26日(水)
第4回配信	4月30日(水)

※配信日は予定です。予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

本誌連載中

「現役マネージャーいずみの細うで繁盛記」の著者が講師を務めます

## わずか1年で新規顧客が44%増!

たった2名で始めたオリジナルブランド「ラチェットモンキー」は今や年間利用客数30,000人  
フロント現場から叩きあげの筆者が教える集客術

随時配信中

視聴料：無料



講師紹介  
人見いずみ

1992年、ヤマウチに事務職員として入社。「メカニックにとって良い職場でなければ良いお店はつukれない」を持論として「ラチェットモンキー」を立ち上げる。ネット車検予約管理サービス「totoco(とっとこ)」販売に携わりながら、講演活動などアドバイザーとしても活躍中。

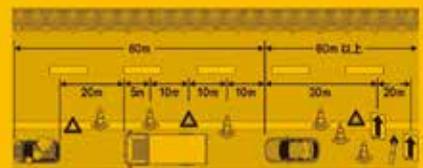
どちらのオンラインセミナーも、上記QRコードよりお申し込みいただけます

2025年3月開講予定

## 車積載車による事故車等の排除業務に係る 自家用自動車の有償運送許可のための研修

受講いただくことで、道路上の事故車および故障車を  
運送することができるようになります

(有償運送許可を受けた運輸支局管内に限る)



[ホームページ]  
<https://www.proto-rios.co.jp/>



[BSRweb]  
<https://bsrweb.jp/>

# EVと 基礎から最新動向まで バッテリービジネスの すべて

著者：江田健二 定価3,960円（税込・送料込） B5判オールカラー 192ページ

好評  
発売中!

## 主な内容

### 第1章 EVの基本

- 1-1 EV発展の歴史
- 1-2 EVの種類
- 1-3 ガソリン車との比較
- 1-4 EVの概要
- 1-5 モーター～電気自動車の動力源
- 1-6 パワーエレクトロニクス～電力変換の技術
- 1-7 パワーコントロールユニット～EVの頭脳

#### Column 1

異常気象と地球温暖化  
～対策行動の促進・阻害要因とSNS分析～  
千種ゆり子（気象予報士・脱炭素キャスター）

### 第2章 電池・充電器の基本

- 2-1 電池発展の歴史
- 2-2 EV電池の概要
- 2-3 EV電池の種類
- 2-4 リチウムイオン電池
- 2-5 充電器の種類と性質
- 2-6 充電場所
- 2-7 充電器の設置

### 第3章 EV最新動向

- 3-1 市場規模と成長率～世界と日本のEV市場
- 3-2 政府の方針
- 3-3 主要メーカーの戦略と動向
- 3-4 新興EVメーカーの台頭
- 3-5 EVビジネスキーワード
- 3-6 自動運転技術の動向

### 第4章 電池・充電器最新動向

- 4-1 市場規模と成長率～電池市場
- 4-2 主要メーカーの戦略と動向
- 4-3 次世代EV電池
- 4-4 全固体電池
- 4-5 充電機器最新動向
- 4-6 水素ステーションの動向

#### Column 2

系統用蓄電池ビジネスの新潮流  
村谷敬（株式会社AnPrenergy 代表取締役）

### 第5章 電池のリユース・リサイクル

- 5-1 リチウムイオン電池の寿命と劣化
- 5-2 EV用電池リユース・リサイクルの技術、可能性、課題
- 5-3 各国政府の方針
- 5-4 リユース・リサイクル事例

### 第6章 EV関連ビジネスの可能性

- 6-1 EV化がもたらす新しいビジネス
- 6-2 充電インフラ関連
- 6-3 MaaS関連ビジネス
- 6-4 データ・AI関連
- 6-5 エネルギー関連
- 6-6 フィンテック関連
- 6-7 教育・人材育成

#### Column 3

モビリティとエネルギーの異種格闘技戦  
出馬弘昭（東北電力事業創出部門アドバイザー）

## 用語解説索引

※掲載内容は編集中のものであり、実際とは異なる場合がございます。

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。



[ホームページ]  
<https://www.proto-rios.co.jp/>



[BSRweb]  
<https://bsrweb.jp/>

# 自動車整備業界のDX

～移動の安心を支える自動車整備事業の再開発～

## 第2回 自動車の構造変化と社会のニーズ変化



### 1. 運転支援システム

衝突被害軽減ブレーキや車線維持支援システムなどの運転支援システムは、政府の後押しも影響し、近年急速に普及しました。現在の新車乗用車における衝突被害軽減ブレーキの搭載率は概ね100%であり、普及率も30%を超えています。

この運転支援システムの普及により、交通事故は年々減少しています。特に追突事故件数は大幅に減少し、2014年から8年間で半減しています。

事故の減少は、事故整備売上高の減少に直結するため、特に自動車の鈑金・塗装事業者において事業の存続にかかわる大きな不安材料となっています。

また、運転支援システムに搭載されるカメラやセンサーの点検・調整作業には、スキャンツールやエイミング機器類を使用した、これまでにない整備作業をする必要があり、整備士には、カメラやセンサー、運転支援システム全般に関する、高度な知識や技術の習得が求められています。

※参考：政府広報オンライン  
「交通事故ゼロを目指して。ドライバーの安全運転を支援する先進安全自動車」

### 2. 電気自動車 (EV)

電気自動車 (EV) は、環境問題への関心の高まりや各国政府の支援策を背景に、近年急速に普及が進んでいます。日本においては、欧米や中国に比べると遅れているものの、徐々に普及が進み、日本自動車販売協会連合会発表のデータでは、2023年には販売シェア1.66%、約4万4,000台まで市場が成長しています。

EVの構造は、これまでの自動車とは大きく異なり、高電圧交流モーター、インバーター、高電圧バッテリーなどの装置が搭載されています。整備士には、これらの電氣的な装置に関する高度な知識や技術の習得が求められています。

特に高電圧部分に関する整備には危険が伴うため、正しい知識と対応する設備が必要になるとともに、取り扱う整備士には高電圧にかかわる特別教育の受講が義務付けられています。

一方で、モーターはエンジンに比べてシンプルな構造であることから、故障しにくく、オイル交換などのメンテナンスも不要であるため、整備売上高の減少が不安視されています。

### 3. マイカーリースとカーシェアの普及

マイカーリースの契約件数は年々増加傾向にあり、2022年には、国内のリース車保有台数が過去最高を記録し、市場規模が大きく拡大しました。

また、車を所持せずに利用したい時だけ借りるカーシェアも都市部で急速に普及し、徐々に地方にも広がりを見せています。

その背景には、消費者のサブスクリプション指向や、所有から利用への考えの変化など、消費者の価値観やライフスタイルの変化があります。詳細は後述の「4. 消費者の価値観変化」に記載しました。

そしてこのようなサービスは、今後ともさらに普及することが予測されています。

マイカーリースやカーシェアが普及することで、自動車整備工場では個人顧客が減少し、法人顧客が増加することにつながります。このことは、自動車整備業界の構造そのものに変化をもたらす可能性があります。

なぜなら、車検や点検のターゲットが法人に変化すれば、整備工場は法人に対してサービスを展開していくことになり、サービス内容も、集客方法も

## Profile

筆者プロフィール

# 小野 健一

ビスピット代表取締役。2006年兵庫県立大学大学院を修了後、自動車部品メーカーで14年間、用品の企画から設計・販売まで一貫した事業開発を経験。2020年に自動車アフターマーケット向けの事業開発を行うビスピットを創業。幼少期の夢であった自動車整備業に特化し、自動運転システムに関する事業開発業務の受託、そこから得られる業界動向をもとに自動車整備工場向け事業の開発、顧問での経営支援等を行う。



大きく変わる可能性があるからです。

そのため、これからは整備料金や整備内容など、法人顧客が求めるサービスに焦点を当てていく必要があります。

そして、法人顧客の特徴として特に注目すべき点は、点検機会が多いことです。マイカーリースやカーシェアに使用される車両は、車両管理会社によって確実に定期点検が実施されるため、個人顧客よりも整備工場への入庫回数が多い傾向にあります。

入庫回数が多い法人顧客をどのように受注し、どのようなサービスを提案していくかが今後の整備工場経営の鍵になるでしょう。

## 4. 消費者の価値観変化

自動車に対する消費者の価値観は、近年大きく変化しており、従来の「所有すること」への価値観から「利用すること」への価値観へとシフトしつつあります。

背景には、多様化するライフスタイルやシェアリングエコノミーの浸透、経済状況の変化により、自動車の所有が必要とされない状況が増えていることにあります。

これらの価値観変化から、自動車メ

ーカーは、従来の販売方法だけでなく、サブスクリプションサービスやモビリティサービスなど、新たなビジネスモデルの構築を迫られ、自動車の機能も、単なる移動手段から、快適な空間や情報発信のツールへと変化しています。

このような状況の中で、自動車整備工場は新たなビジネスモデルを構築し、顧客との関係性をさらに深める必要があります。

具体的には、多様なサービスの提供や透明性の高い料金設定、オンライン予約システムの導入やSNSを活用した情報発信など、消費者のニーズを的確に捉えたサービスの構築が必要です。

そして、これらのサービスを提供するためには整備工場のDXの推進が必須です。DXが今後の整備工場経営の大きなポイントになっていくことは疑いようのない事実と言えるでしょう。

自動車整備工場は消費者の価値観変化に対応し、常に革新を続けることが求められます。

### まとめ

自動車の構造や社会のニーズは大きく変化しています。

運転支援システムや電気自動車の普及によって、自動車整備工場では高度な整備技術の習得が求められる一方、整備機会の減少や売上高の減少が懸念されています。

また、消費者の価値観は、「所有」から「利用」へとシフトし、マイカーリースやカーシェアが増加しています。この変化は個人顧客の減少と法人顧客の増加をもたらし、整備工場のビジネスモデルに変革を求めています。

そのような状況の中、自動車整備工場はDXを進め、顧客のニーズに合わせた多様なサービスを提供していく必要があるでしょう。

第1回目の連載で触れた「制度の変化」に加えて、「自動車の構造」や「社会のニーズ」も大きく変化しています。自動車整備業界は文字通り「大変革期」を迎えています。

次回からはこの大変革期に対応するための対策等を紹介していきます。





### 第23回 2月中旬、中古車の相場下落に注意

オークションの相場高騰が続く中で、今回は買い取りを強化する上で「査定力の強化」について書かせていただいた。評価点の基準と正しい査定手順を学び、査定力を高め、ユーザー仕入れによる売り玉の確保、オークション出品による利益増大を目指したい。

今回は、買い取り強化には欠かせない「プライシング」について説明させていただきます。

車両の状態を正しく評価するのが「査定」だが、その査定した車両を「いくらで売れるのか?」「いくらで買いとればよいのか」を算出するのが「プライシング」だ。中古車は、過去のオークションの出品落札の履歴データを参考にプライシングする。車種やグレードに加え、年式や走行距離、カラーや装備、そして評価点によって相場が形成されるが、卸売市場の魚や野菜の取り引きと同様に、需要と供給のバランスで相場は大きく動く。特に影響が大きいのは時期によるものだ。

近年、オークション相場は高値安定ではあるが、それでも相場は変動する。中古車の相場が大きく下落するタイミングは年に3回ある。毎年、

2~3月、9~10月、年末である。

2~3月と9~10月は、決算期で車検が多い時期であることに加え、ディーラーが決算期に合わせてセールを行うため、新車の販売台数も多い。新車の販売が増えると代替で下取りとなる車の流通量も増える。そのため、オークションの出品台数は大きく膨れ上がるが、一方で決算期商戦が終わりに差し掛かるとユーザーの購買意欲も下がるため、中古車販売店のバイヤーは積極的に在庫を仕入れなくなっていく。このようにして、需要と供給のバランスが崩れ、大きく相場が下落することとなる。この決算期には毎年10万円以上の相場下落が見られるため注意が必要だ。

また、年末の相場下落も特徴的だ。繁盛期が終わり閑散期と移行するだけでなく、年末年始の休業に向けて仕入れを押さえる動きや車両の年替わりといった気分的な影響、輸出の船便の休業、外国人バイヤーの帰国により相場の下落幅も大きい。

せっかく買い取りで仕入れた車が、利益を生み出さないばかりか赤字になってしまうのではあまりに残念だ。これらのタイミングでは、相場下落を予測し、プライシングに特に慎重

にならなくてはならない。

金額提示の際には、下記のような対策が必要である。

- 引き取り予定日や期限を明確にすること
- できる限り、在庫を前倒してもらえようように交渉すること
- 高額車や特に相場下落が予想される車両は、代車を貸出しても在庫を早めていただくこと
- それでも引き取りが先になるようであれば相場下落を考慮した金額を提示すること

これからの季節は、まさに相場が大きく変動する要注意のタイミングであるが、買い取りや下取りの案件が増える時期でもあるため、正しいプライシングを身に付け、しっかりと利益につなげていただきたい。

チームエルでは、電話やファックスによる中古車の買い取り金額の提示や相場変動の情報提供、販路選定やオークション出品のアドバイスをを行う「流通ヘルプデスク」のサービスを提供中。車販や買い取りを強化したい整備工場様はお問い合わせいただきたい。



#### 筆者プロフィール

株式会社チームエル 取締役CMO。2006年に愛車広場カーリンクのチェーン展開開始と同時に、カーリンク基礎研修の開発に着手、その後も直営店の出張査定センターのマネジメントやディーラーコンサルティングなど、幅広く様々な仕事を経験、2014年からはCaSSの会員制度を立ち上げ、会員向けのサービスや企画を開発。

現役マネージャーいづみの

# 細うで繁盛記

本連載は経営陣と現場スタッフの間で葛藤するマネージャー、工場長、次期経営者に、現役マネージャーが贈る考え方のヒントです。



## 第11回 外国人採用に踏み切るのか否か

みなさまこんにちは！ヤマウチの人見です。今月号のテーマは「外国人採用に踏み切るのか否か」です。正直申し上げてなかなか難しいです。なぜなら私の回答は「え？『踏み切る!』とかそんなに覚悟がいることなん？外国人採用なんて、きょうび普通に当たり前のことでしょろ!？」(注：これが現場とのギャップ)の一言で終わっちゃうからです。

未曾有の「整備士の成り手がいない」という時代ですので、経験不問で求人を出している会社さまも多くありますが、昨日までパソコンを叩いていた方を整備士として雇い入れるおつもりでしたら、外国人を採用するのも教育にかかる労力はさして変わりないと思います。

ちなみにラチェットモンキーでは一昨年前に1名と今年4月に4名の外国人プレイヤーを雇い入れました。ビザの種類で申しますと「高度外国人材」で、全員が俗にいう「技・人・国(技術・人文知識・国際業務の略)」をお持ちの方々です。

入社歴がまだ浅いにもかかわらず、すでに整備をバリバリやっていますし、半数以上の方がお客様への車検の説明までこなしています。日本語能力試験も

N1、N2、N3と、ひきこももですが、皆日本で生活しているのでコミュニケーション能力も高く、お客様の評判も上々です。

ただ一つ、気を付けるとするならば「文化の違いを認めて受け入れる」です。宗教上食べられない物もありますし、こちらはシャレのつもりでも冗談では済まないこともあります。難しそうに感じられるかもしれませんが、今の時代って普通にダイバーシティを意識せねばなりませんしLGBTQへの配慮も必要です。すべてにおいて「個」を尊重し、過度なイジリを排する優しい世界が求められているわけですから、日本人と外国人にかかわらず「個」の事情にしっかりと寄り添いつつ「平等」と「公平」をはき違えずに運営をすれば良いと思っています。

今回、「外国人採用に踏み切る判断基準」もたずねられたのですが、回答は「え？人手不足で困ってるんやろ？だったら、『会社側の受け入れ準備を整えて即!』なんじゃない?」となります。参考になるか分かりませんが、ヤマウチで行った準備や工夫について書きますね。

まずはビザの種類です。就労ビザは16種類もあるのですが、うち、私たち

整備工場に縁が深いのは「技能実習生」、「特定技能外国人」、「高度外国人材」の3種であり、前者2つは6か月ごとの更新が必要で、かつ最長5年という縛りがあります(延長できる場合もあります)。短期集中型で即戦力として活躍いただける側面を持っていますので魅力的ではあったのですが、私たちは技術力を持った整備士の増員を求めていますので「高度外国人材」の募集に絞りました。また、文化の違いから孤立してしまうことを回避したかったので、母国語が通じる方とペア以上で雇い入れることも意識しました。ちなみに、母国に仕送りをされている方もいらっしゃるだろうと、格安で入居できる社宅もご用意したのですが、蓋をあけてみると好きなトコで生活したいとおっしゃって数名しか入居していません。やっぱり自由が一番よね(笑)。

入社後は、ビザや帰省のこと、対人関係や上司には話づらいことなど、整備以外の相談ができるよう、比較的職歴が浅い日本人を1名サポート係として任命しました。現在進行形で、皆さま仲睦まじく仕事をしています！外国人の雇い入れの判断基準は「準備ができれば即!」です！皆で楽しく仕事しましょう！



### 筆者プロフィール 人見いづみ

メカニック全員が退職するという、悪夢のような経験を経て、たった2名からオリジナルブランド「ラチェットモンキー」を立ち上げ、3店舗・年間のべ利用客数30,000人・車検台数6,500台を実現。現在は自社開発した予約システム「totoco(ととこ)」を販売しながら、講演活動にも取り組む。

株式会社ヤマウチ

<https://totoco.biz/>



## 第23回

# 契約条件の検討と COC (Change of Control)

# 実践M&A

こんな時どうする？  
具体的なノウハウを伝授！

フォーバル 山田健一

前回はデューデリジェンス (DD) について、その重要性や具体的な進め方をご説明しました。今回は、DD で得られた情報をもとに次のステップである「契約条件の検討」と「COC (Change of Control)」について解説します。これらのプロセスは、自動車整備・钣金業を営む皆さまにとっても、M&Aをスムーズに進めるための重要なポイントとなります。

契約条件の検討は、M&Aの最終合意に向けた大切なステップであり、この段階では、DDで明らかになったリスクや対象会社の特徴を踏まえ、譲渡企業と譲受企業の双方が納得できる形で条件を詰めていきます。たとえば、対価の支払いについては、一括払いを基本としつつ、事業の成長性や実績を踏まえた「アーンアウト」を取り入れるケースがあります。これは譲渡後の事業成績に応じて追加対価を支払う仕組みで、譲受企業にとっては譲受後も安定した運営ができるというメリットがあり、譲渡オーナーにとっては、譲渡後も引き続き事業運営にコミットすることとなりますが、譲渡対価を増額したり、自社だけでは成し得なかった事業拡大に携

わることができたりするメリットもあります。

また、契約条件では、事業運営の中核となる従業員や取引先に関連するリスクを管理する条項を明確にすることが求められます。特に、自動車整備工場では熟練した整備士や検査員といったキーパーソンが事業運営を支えているため、これらの従業員が安心して働き続けられるよう、譲受企業が雇用条件の維持を約束する内容を契約に盛り込むことが一般的です。

続いて、COC (Change of Control) とは、支配権の変更があった場合に発動する特定の契約条項のことです。M&Aでは、支配権の変更に伴い、取引先や金融機関との契約条件に影響が出る可能性があるため、事前にこの条項を精査する必要があります。たとえば、主要取引先との契約に支配権変更条項が含まれている場合、譲渡によって契約が終了するリスクがあるため、事前にしっかりと確認し、スムーズな引継ぎのために何をすべきか把握することが重要です。

さらに、M&Aの際に特に注意が

必要なのが、連帯保証解除の手続きです。自動車整備や钣金業界では、金融機関からの借入やリース契約に経営者個人の連帯保証が付随しているケースが多く見られます。M&Aに伴い経営者が交代する際、旧経営者の保証が残ったままでは、譲渡後のトラブルやリスクにつながる可能性があります。このため、連帯保証が解除できるかどうか、契約前に金融機関へ相談しておくことが極めて重要です。

契約条件の検討やCOC条項、連帯保証解除の手続きは、M&Aを成功させる上で重要な鍵を握ります。これらを丁寧に進めることで、譲渡企業と譲受企業双方にとって納得感のあるM&Aが実現します。

今回は、「調印式」とM&Aを成功させるために重要な従業員や関係者への開示「ディスクロージャー」について詳しくお伝えします。



### 筆者プロフィール

国内大手EC会社にてマーケティングを担当。その後、大手M&Aアドバイザー会社にて上場企業の経営戦略立案やM&Aアドバイザーとして数多くのM&Aを実行支援。2016年に(株)フォーバルの事業承継支援事業立ち上げに参画。自動車アフターマーケットでの後継者問題の解決、補助金支援に力を入れている。

事業承継・M&Aのご相談はこちら

## 株式会社フォーバル

事業承継支援部

自動車アフターマーケットチーム責任者 山田

TEL:0120-37-4086

<https://forval-shoukei.jp/>



好評発売中!!

# スキャンツールの 基礎知識

スキャンツールでできること  
空燃比制御信号を使用した  
エンジン診断方法  
作業サポート機能で作業を楽に  
カスタマイズ機能で愛車を顧客の好みに

スキャン  
ツールとは

故障診断機能を活用した  
トラブルシューティング

# 故障診断 機能を活用する



## 『スキャンツール活用講座』

山岡丈夫 著 B5判/168ページ/フルカラー 定価3,630円 (税込・送料込)

2017年からBSRで連載している

「先進技術の知識と整備」に

新しい項目を書き下して1冊にまとめました。

# 令和3年施行 新点検基準対応!!

# 実践編

スキャンツール活用

データ表示機能を活用したトラブルシューティング

エアコン整備  
自動ブレーキ車の  
構造作動と車体整備  
ヘッドランプ整備・調整  
フロントバンパー交換後の作業

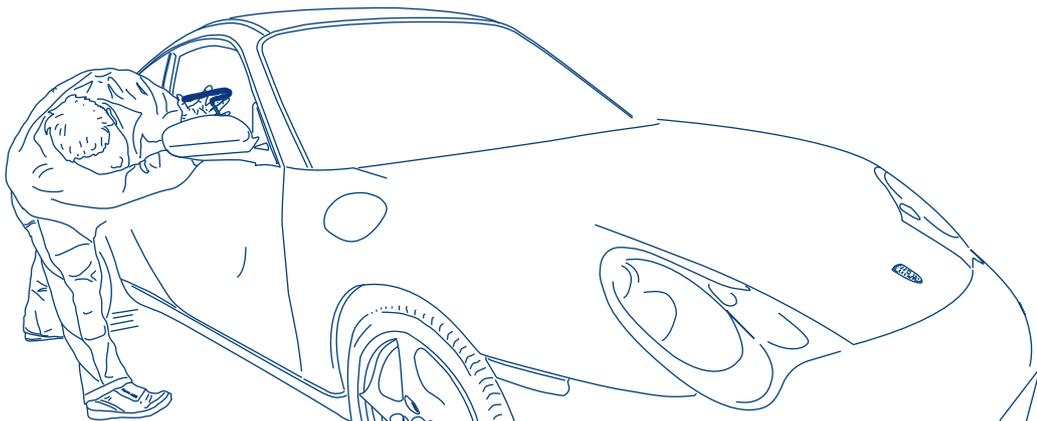
故障診断  
エンジン  
の診断  
先進技術  
対応

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店  
もしくは弊社までお願い致します。

 **PROTO RIOS**  
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7  
TEL: 06-6227-5661 FAX: 06-6227-5664  
メンオサンズシヨウカイ株式会社 www.proto-rios.jp/33

# デントリペア・テクニカルスクール 受講生募集!!



## 特長

- ✓ 世界基準のカリキュラム
- ✓ 世界最高峰のテクニックを伝承
- ✓ 卒業後のフォローも

体験入学の流れ  
**無料!**  
随時受付中

### Step1

#### 申し込み

WEBページより体験の申し込みをしてください。

### Step2

#### 受付

デントリペアの1日体験は手ぶら、普段着でOKです。

### Step3

#### 概要説明

デントリペアとスクールの概要を簡単に説明します。

### Step4

#### 体験実習

講師の実演後、実際にデントリペアを体験します。

### Step5

#### 昼食

昼食は無料。受講生の方々の意見交換もできます。

### Step6

#### 個別相談

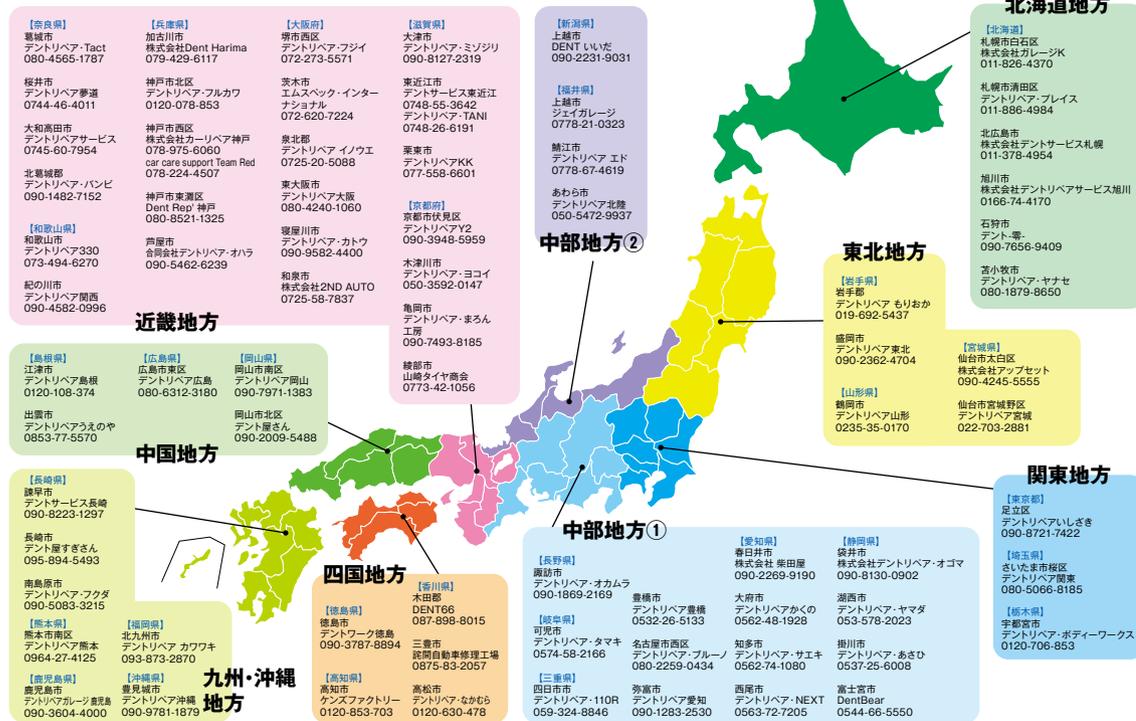
様々なご質問に具体的に回答いたします。

### Step7

#### 終了

お疲れ様でした!ご都合に合わせて最長夕方まで可能。

## 全国のサービスショップ (2021年7月時点)



## PICK UP!!



デントリペア関東  
080-5066-8185



デントリペア・ヤナセ  
080-1879-8650



デントリペア・バンビ  
090-1482-7152



会社情報

日本デントショップネットワーク本部  
チケットトレーディング株式会社

URL <http://www.dent-shop.com/>

〒593-8312

大阪府堺市西区草部750-6

TEL 0120-703-853



スクールの詳しい情報はコチラを読み込んでください。

日本のみならず海外からも多くの受講生を受け入れている日本デントショップネットワーク。デントリペアの最先端技術だけでなく、集客や営業マナースキルなどのノウハウも学べる「DENT-SHOPテクニカルスクール」の卒業生を紹介。

## 全国で活躍するDENT-SHOPテクニカルスクール卒業生



### デントサービス札幌

北海道北広島市西の里 348-4

代表者 鎌倉 悟

創業 2011年

事業内容 デントリペア、ウインドリペア

#### —テクニカルスクールに入学したきっかけは？

中古車販売店で働いていた際にデントの存在を知り、札幌エリアでデント業者がないことや、钣金塗装に比べ設備投資なども抑えられることからビジネスチャンスだと思い入校した。

#### —受講した感想は？

現役でデントリペアを仕事にしている方が講師だったので、大変分かりやすく勉強することができた。習得した技術を外資系企業に買われ、メキシコで雹害対応したのは良い思い出。また、アメリカのデント大会で入賞するなど、受講したことで人生が大きく変わった。

#### —今後の取り組みについて

デントリペアは利益率も良く、可能性を感じている。後進が育ってきたので、札幌を任せて函館での新規出店を検討している。



### デントリペア・あさひ

静岡県掛川市中宿 136

代表者 松永 恭輔

創業 2018年10月

事業内容 デントリペア、ウインドリペア、  
車販、一般整備、钣金塗装

#### —テクニカルスクールに入学したきっかけは？

18歳から钣金塗装技術者として16年間ほど働いていたが、事故により身体を傷めた際にこのスクールと出会い、プロフェッショナルコースに2018年入校した。

#### —受講した感想は？

钣金作業とは違い、デントリペアで実際にツールを用いて凹みを出すのは想像以上に難しかった。海外で活躍する技術者なども講師にあり、技術レベルは非常に高いと感じた。1ヵ月半の期間、優しくかつ厳しいトレーニングを積むことができたのは良い経験。

#### —今後の取り組みについて

卒業後は出張デントリペアをメインとし、2020年頃から積載車で引き取りをしながら現在の工場に入庫コントロールして各種サービスに対応している。今後は、デントリペアを切り口に钣金塗装の入庫を拡大していく。



## ラクロスIIの導入で売り上げ、利益が増加、次のステップへ

### 北日本石油ピッカーズ 清田店

店長=関根浩貴 所在地=北海道札幌市清田区北野6-1-4-38  
使用ソフト=ラクロスII

### クイックリペアから本格的に钣金塗装事業を開始

北海道、東北地方を中心にガソリンスタンドを運営する北日本石油。同社では車検、洗車、カーケア、車両販売など幅広いサービスを提供している。クイックリペア事業は2012年にスタートし、当初は同社のガソリンスタンドの一角で行っていた。2018年、徐々に入庫が増加し、手狭になってきたタイミングで閉鎖するガソリンスタンドの跡地が使えることになり移転。その際にピッカーズに加盟し、事業を本格化させた。

現在、同店舗では钣金塗装と磨きを行っており、月間平均60台ほど処理している。ピークは3～4月で、これは北海道エリアの特徴であるシカとの接触事故だけでなく、雪の溶け始めのスリップでドアやバンパーの軽度の損傷が増えるためである。同店のスタッフは5人。全員が钣金塗装、磨き作業ができるため、作業分担はせずに生産性を維持している。入庫は小～中破がメインとなり、比率は8割がクイックリペア、2割が保険業務となっている。



関根浩貴店長（中央）とスタッフ

### もっと早く始めていれば……見積りシステムの有用性

保険業務が増えると、協定に時間がかかるようになってきた。それまで同社では損保会社からの見積書をベースに、エクセルで打ち直して金額差や部品価格などの調整をしてきた。しかし、2022年7月に塗料販売店の紹介からラクロスIIを導入してからは、自社で見積書を作り始め、「ここから大きく売り上げと利益が変わった」（関根浩貴店長）。

大破手前の車両が入庫した際、損保会社の見積書は約60万円。同社が作った見積書は約100万円だった。協定の結果、最終的に約90万円で着地した時、関根店長はそれまでかなりの利益を損失していたこと、システムの有用性に気付かされた。「钣金塗装に関する項目が多く、漏れがないため、ベースの金額が高くなった。それだけでなく、協定する時間もこれまでの1/5くらいにまで短縮されるなど、想定以上に大きな効果があった。使い方に関しても営業担当者やサポートが親身になって対応してくれて、すぐに慣れた



ラクロスIIは同社に大きな利益を生み出した



ので感謝している」。その上で、「もっと早くラクロスの存在を知って導入しておけば良かった」と後悔を口にする。

### ハードは限界人を増やして先を目指す

バンパーに触れなくなることは死活問題につながると、特定整備認証は2021年に取得。エイミングサポートツールを導入するなどコンプライアンスと作業効率向上にも力を入れる。ミグ溶接機も新たに導入し、「溶接強度が求められる中、顧客の安全のためにしっかり対応していきたい」と設備環境を整えた。

今後について関根店長は、「入庫台数を考えるとハード面に限界が来ている。スタッフを増員し、次の店舗展開を目指したい」と話す。見積りシステムを導入し、正しい利益を確保できるようになった同社は、次のステップに向けて動き出している。

ラクロスII  
RACROSI II



エイミングサポートツールで作業効率化を図る



# 業界の問題課題に 「王手」

強化したいポイントだけ  
無駄なく選べる統合システム

ラクロスⅢ  
**RACROS Ⅲ**

豊富な情報で業務を支援する  
鈹金塗装見積りシステム

鈹金塗装見積りシステム  
**Morenon Ⅲ**

# Diagnostic Tool TPM-6

# TP

王道機の  
進化型



待望の  
デビュー

## POINT

### 1

#### 整備用ツール

- 次世代通信 DoIP(ISO13400) 対応
- 様々な電子制御装置の整備に対応

## POINT

### 2

#### 検査用ツール

- 検査用スキャンツール認定機種 (認定型式番号: JASEA-KS-29)
- Bluetooth 対応 (OBD 検査を無線通信で実行)

## POINT

### 3

#### 便利機能

- エーミングや DPF 点検などよく行う作業をまとめた特殊機能をオリジナルで設定
- 車両登録機能 / Wi-Fi アップデート対応

# NEW ARRIVAL

## 株式会社ツールプラネット

〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町43-2  
TEL 058-246-1733 FAX 058-246-1736  
URL : <http://www.toolplanet.jp/>  
E-mail : [toolplanet@toolplanet.co.jp](mailto:toolplanet@toolplanet.co.jp)





シム単体の  
手配不要



シムの洗浄  
作業不要



ノイズ  
低減



## シム付きブレーキパッド

整備の効率化を図り、ドライバーに快適なカーライフを提供!!!

### ALL IN ONE

当製品は、ブレーキ鳴きの効果が得られるシムとセットで販売しています。整備の現場で、再利用時の洗浄や新品の手配といった手間を軽減します。



### ITEM RANGE

2017年より業界に先駆けて発売を開始。当初4品番からスタートし、50品番を超えました。新しい定番となるよう、更なる品番拡充を進めます。

品番  
拡大中



# 突然ですが問題です

2020年4月に生産されたトヨタ・プリウス（ZVW5#系）は、  
特定整備（電子制御装置整備）対象車でしょうか？



答えはここに



2024年4月より特定整備認証制度が本格的にスタートする。電子制御装置整備対象車両が入庫した際、どんな種類の整備が必要なのか、どんな設備・環境が必要なのか、それを自社で対応できるのか否か、すばやい判定が求められます。



本書の特徴

車両が入庫した時に開くクイックチェックガイド

国産乗用車全9ブランド、全200車種のデータを掲載

対象となる電子制御装置整備の項目数と  
作業概要が一目で分かる

各整備に必要な作業スペース面積、ターゲットパターンの種類、  
ターゲットスタンド、エイミング方法を網羅

実際に作業をする時に必要となる、  
整備要領書 (Web) へのアクセス方法も明示

入庫したらすぐチェック!

## 特定整備 対象車種

対応ガイド

新刊

PROTO RIOS

A4判/296ページ/2色刷り/定価5,500円 (税込・送料込)

セット購入はさらにお得!!

620円  
OFF

「特定整備対象車種対応ガイド」と  
「エイミングデータブック2023」をセットで  
購入すると10,300円が9,680円に!

エイミング  
データブック2023  
(フロントカメラ&レーダセンサ)

発行：公論出版  
A4判 328ページ  
定価4,800円 (税込・送料込)

主な内容

エイミング作業時の設定数値や入力数値などを車種ごとに掲載

フロントカメラ&レーダーユニット調整値 (ターゲット位置、距離と高さ&設置図/スキャンツール入力数値)

国産車168モデル (2020年1月～2023年3月末まで対象/フルモデルチェンジ車、新型車、一部改良車両など)

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。

PROTO RIOS  
株式会社 プロトrios



[ホームページ]  
<https://www.proto-rios.co.jp/>



[BSRweb]  
<https://bsrweb.jp/>